

## 平成 27 年度「学生による授業アンケート」の結果について

### 1. はじめに

東京都立産業技術高等専門学校では、各教員の教育能力を高めることを目的にした取り組みの一環として、平成 21 年度から「学生による授業アンケート」を実施してきた。7 回目となる本調査も、本科及び専攻科の全授業を対象として行われ、ほぼ 100%に近い学生から回答を得ている。本報告は平成 27 年度の「学生による授業アンケート」の結果を報告するものである。

### 2. アンケートの実施概要及び内容

#### (1) アンケートの実施概要

- ◎ 調査目的：授業の実態を各教員が把握し、それぞれの授業改善への努力に役立てるため
- ◎ 調査対象：産業技術高専で開講している本科及び専攻科の全授業
- ◎ 回収率：ほぼ 100%

#### (2) アンケート内容

##### <座学系>

- 質問 1. 授業時間外でもこの科目の勉強をするように努めた
- 質問 2. 授業中、勉強をしやすい雰囲気があった
- 質問 3. 講義の仕方が明瞭でわかりやすかった
- 質問 4. 板書や掲示資料は見やすかった
- 質問 5. 授業の中で授業内容、言判面方法等(シラバス)についての説明があった
- 質問 6. 授業内容や評価方法はシラバス通りに適切であった
- 質問 7. 総合的にこの授業には満足できた
- 質問 8. 教科書・指導書・プリントは役に立つ教材であった
- 質問 9. この授業によって、この科目に対する力がついた(達成感があった)
- 質問 10. 教員は学生の方に視線を向けて話していた
- 質問 11. この授業によってその関連する教科に興味や必要性を感じる事ができた

### <実技実習系>

- 質問 1. 実技や実習に遅刻することなく積極的に取り組んだ
- 質問 2. 実技や実習にふさわしい服装で臨んだ
- 質問 3. 教員は装置や器具の使用方法を適切に指導していた
- 質問 4. 提出した課題等に対して十分なコメントが返ってきた
- 質問 5. 授業の中で授業内容、言判面方法等(シラバス)についての説明があった
- 質問 6. 授業内容や評価方法はシラバス通りに適切であった
- 質問 7. 総合的にこの授業には満足できた
- 質問 8. 教科書・指導書・プリントは役に立つ教材であった
- 質問 9. この授業によって、自分の技術力・能力が上がったと感じた
- 質問 10. 教員は学生の方に視線を向けて話していた
- 質問 11. この授業によってその関連する教科に興味や必要性を感じる事ができた

### <回答方法>

上記質問に対し、評価がどちらよりであるのかを明確にするために、学生は下のような4段階で回答し、評価点数は①を1点、②を2点、③を3点、④を4点とした。

- ① あてはまらない    ②あまりあてはまらない    ③ややあてはまる    ④あてはまる

### 3. アンケート実施形態の変更及びその影響と新しい課題について

これまで、授業アンケートは授業を担当する教員が学期末の最後の授業時に、アンケート用紙を配付し、学生が記入後に回収するという形で実施されてきた。マークシート読み取りの精度やそれに費やされる時間等の問題に対処すべく改善室では、学生が端末を使用して質問に回答する授業アンケートを検討し、昨年度からはすべての授業アンケートが端末を使用して実施された。

アンケートは期末試験の前週の特定の日を選んで、クラス毎に端末室へ誘導し、そこで授業アンケートを行う方法をとった。学生は、まず学生版の校務支援システムにログインして、「授業関係」から「授業アンケート」へと進み、自分が履修しているすべての科目について上記の質問に回答した。また、自由意見があればそれを記入した。回答に際しては、各自のIDでログインしているが、アンケートの回答と記入者を結び付けることはない旨を伝えている。

学生がアンケートに回答すると、その結果は直ちに校務支援システム上の「アンケート集計結果」に反映され、各教員は自身の授業の実態を把握できる。では、まずその平成27年度のアンケート結果を25年度と26年度のものと比較してみたい。

まず、平成25年度から27年度の各質問に対する全科目の評価点数を比較するために、表2-1のように前期と後期の全体の授業アンケート結果を平均で表し、これに基づき図2-1に本科の座学系、同じく表2-2に基づき図2-2に本科の実験実習系について示す。横軸は各質問番号について平成25年度から27年度までを並べ、縦軸は評価された点数としている。

表 2-1 平成 25 年度から 27 年度までの評価点数の平均値の比較（本科座学系）

質問 番号	年度								
	H25			H26			H27		
	前期	後期	平均	前期	後期	平均	前期	後期	平均
1	2.60	2.81	2.71	2.74	2.89	2.82	2.89	3.02	2.96
2	3.18	3.17	3.18	3.09	3.18	3.14	3.16	3.24	3.20
3	3.09	3.12	3.11	3.03	3.15	3.09	3.13	3.22	3.18
4	3.14	3.13	3.14	3.06	3.17	3.12	3.15	3.25	3.20
5	3.97	3.55	3.76	3.71	3.77	3.74	3.78	3.79	3.79
6	3.50	3.42	3.46	3.37	3.43	3.40	3.41	3.44	3.43
7	3.16	3.14	3.15	3.08	3.19	3.14	3.19	3.24	3.22
8	3.26	3.20	3.23	3.16	3.24	3.20	3.23	3.30	3.27
9	2.99	3.04	3.02	2.95	3.10	3.03	3.08	3.17	3.13
10	3.48	3.37	3.43	3.31	3.36	3.34	3.33	3.39	3.36
11	3.17	3.16	3.17	3.09	3.21	3.15	3.18	3.26	3.22

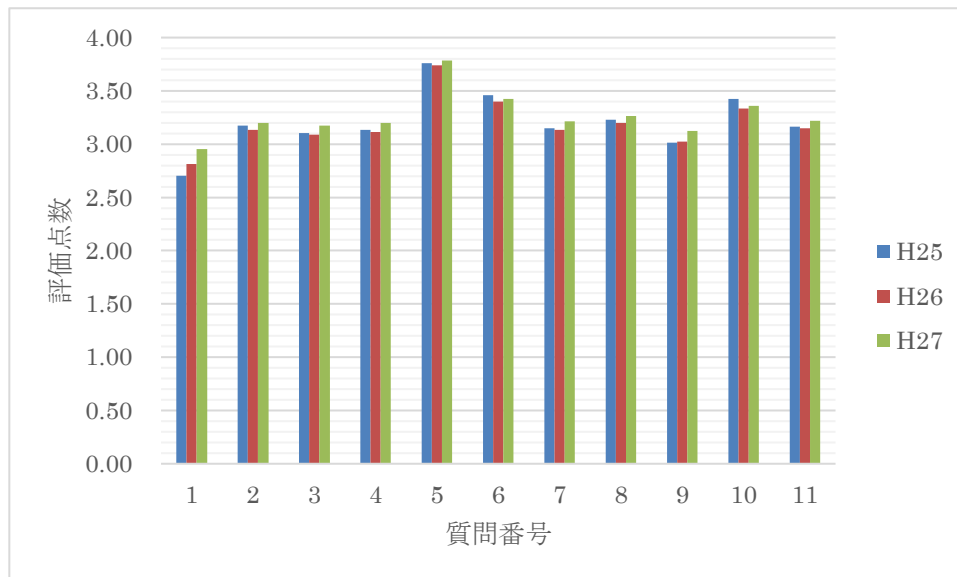


図 2-1 平成 25 年度から 27 年度までの評価点数の平均値の比較（本科座学系）

表 2-2 平成 25 年度から 27 年度までの評価点数の平均値の比較（本科実験実習系）

質問 番号	年度								
	H25			H26			H27		
	前期	後期	平均	前期	後期	平均	前期	後期	平均
1	3.58	3.48	3.53	3.58	3.52	3.55	3.45	3.52	3.49
2	3.65	3.55	3.60	3.68	3.62	3.65	3.60	3.61	3.61
3	3.58	3.43	3.51	3.18	3.53	3.36	3.43	3.52	3.48
4	3.36	3.27	3.32	3.03	3.35	3.19	3.26	3.38	3.32
5	4.00	3.59	3.80	3.72	3.83	3.78	3.73	3.83	3.78
6	3.60	3.48	3.54	3.31	3.55	3.43	3.43	3.57	3.50
7	3.35	3.29	3.32	2.97	3.37	3.17	3.19	3.43	3.31
8	3.34	3.30	3.32	2.90	3.41	3.16	3.17	3.36	3.27
9	3.26	3.25	3.26	2.91	3.31	3.11	3.09	3.30	3.20
10	3.52	3.43	3.48	3.39	3.47	3.43	3.39	3.51	3.45
11	3.41	3.36	3.39	2.96	3.39	3.18	3.18	3.38	3.28

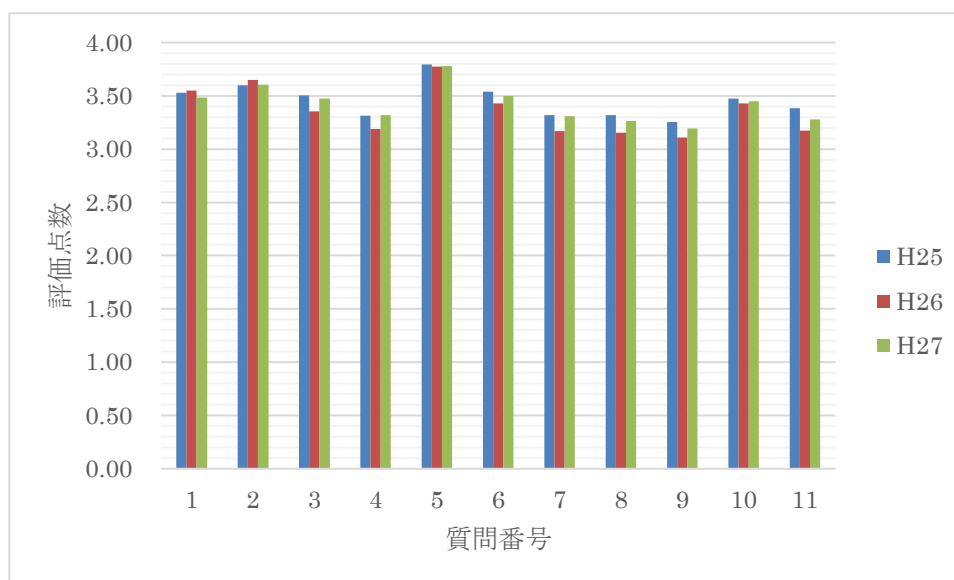


図 2-2 平成 25 年度から 27 年度までの評価点数の平均値の比較（本科実験実習系）

図 2-1、図 2-2 を見るとほとんどの質問において、平成 25 年度に対して 26 年度は、わずかながら評価点数を下げていることから実施形態の変更が一つの要因と考えられた。しかしながら、平成 27 年度の結果を見ると、評価点数が持ち直していることが示された。このことから実施形態の変更が学生たちに定着したと考えることもできるが、今後も継続的に結果を見る必要がある。

これまでは、授業を担当する教員がアンケート用紙を配付して授業時に行なってきたが、端末を使用した校務支援システムからの入力となり、学生は対象となる科目全てについて 11 の質問に次々と答え、自由意見に記述していくことが求められるようになってきている。前年度でも指摘されているが、多くの科目について一度に入力作業を行うため、ややもすれば流れ作業のように機械的に入力しがちになるので、アンケートに取り組む学生の態度がやや雑になったとしても不自然なこととは言い難い。教室でアンケートの対象である担当教員に見られながらアンケートを記入していくことがなくなったのは改善点であるが、今後どのように端末からのアンケートの質を落とさずに実施していくかが今後も重要な課題であると言える。

また、端末からのアンケートは自由意見欄がキーボードによる入力となってからは多くの意見が寄せられることになったのだが、自由意見欄への記述をネットの掲示板に匿名で書くのと同じ感覚で書いたと思われる意見もあり、それへの対応も依然として今後の課題である。

それでも、授業アンケートを端末から実施するメリットは多い。とくにアンケート実施後すぐに結果を知ることができるのは、すぐに授業改善がなされる機会に恵まれるということであり、学期末を待たずに学期の途中で一度アンケートを実施して、その後の授業に活かしていくようなことにも取り組めば、各授業の改善に大いに資するところがあるだろう。

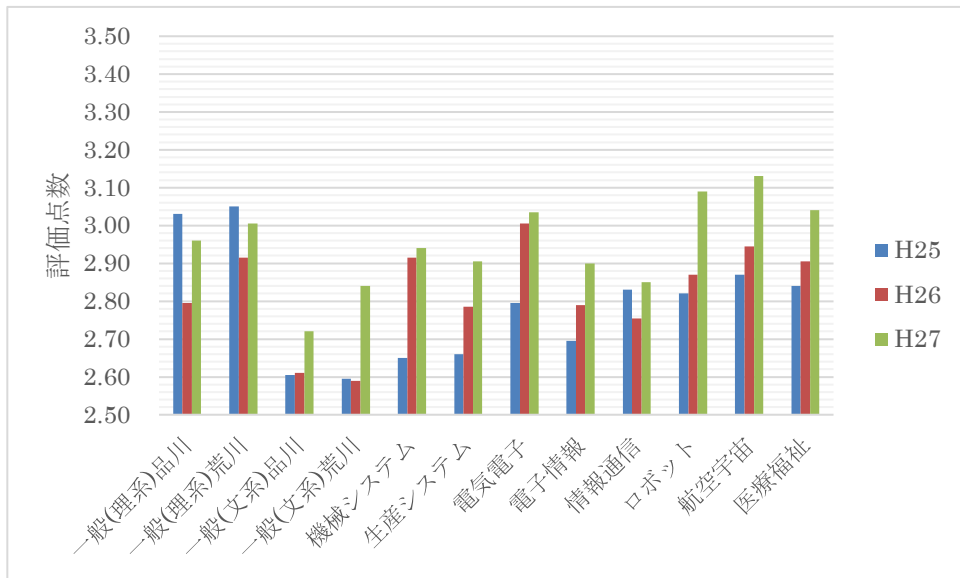
授業アンケートの恩恵を一番に受けるのは、授業を担当する教員ではなく、授業を受けている学生である。学生がそのことを理解し、授業に取り組む姿勢を考え、自分自身あるいは後輩のために授業アンケートに真面目に回答する、という態度を学生からいかに引き出せるかどうか、そしてアンケート結果を有意義に各教員や各コースに活かすことができるかどうか、すべての課題解決への糸口があるように思われる。

#### 4. 27 年度の本科学系・実験実習系授業アンケート結果

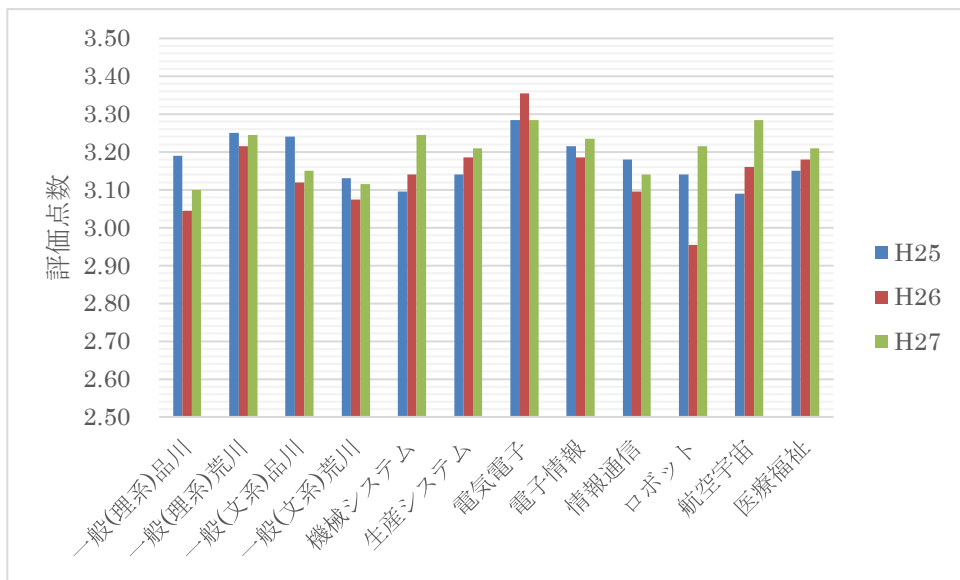
以下に平成 27 年度のアンケート結果を座学系と実験実習系にわけ、それぞれを 25 年度と 26 年度の結果と比較するため、これらとともに合わせて示していく。ここでは、両キャンパスの、一般科目の理系・文系について、各工学コース専門科目について示していく。その際、表 4-1 の座学系授業アンケート結果に基づき、各質問内容の結果をグラフとして図 4-1(a) から (k) までに示す。同様に、表 4-2 実験実習系結果に基づき、図 4-2(a) から (k) までに示す。いずれも、横軸は各科目について平成 25 年度から 27 年度までを並べ、縦軸は評価点数としている。なお、表 4-1 の本科学系の授業アンケート結果では一般科目について理系と文系が示しているが、表 4-2 の本科実験実習系の結果では一般科目について理系と文系を示していない。これはアンケートの結果のデータが得られなかったためである。さらに、この一般科目については実験実習系の結果において、平成 25 年度のデータが得られなかったためにグラフ上でも表示していない。近年、端末を使用した校務支援システムでの授業アンケートの入力および処理環境が整いつつあるので、平成 26 年度以降は徐々にデータ分析がしやすくなると考えられる。

表 4-1 平成 25 年度から 27 年度までの本科座学系アンケート結果

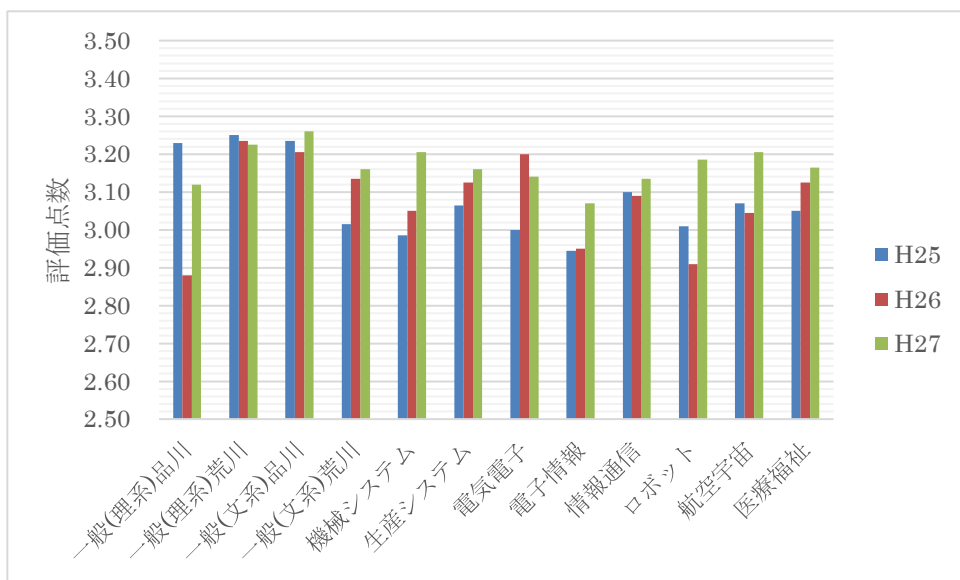
質問番号	年度	科目分類													全体
		一般科目（理系）		一般科目（文系）		工学コース専門科目									
		品川	荒川	品川	荒川	機械システム	生産システム	電気電子	電子情報	情報通信	ロボット	航空宇宙	医療福祉		
1	H25	3.03	3.05	2.61	2.60	2.65	2.66	2.80	2.70	2.83	2.82	2.87	2.84	2.71	
	H26	2.80	2.92	2.61	2.59	2.92	2.79	3.01	2.79	2.76	2.87	2.95	2.91	2.82	
	H27	2.96	3.01	2.72	2.84	2.94	2.91	3.04	2.90	2.85	3.09	3.13	3.04	2.96	
2	H25	3.19	3.25	3.24	3.13	3.10	3.14	3.29	3.22	3.18	3.14	3.09	3.15	3.18	
	H26	3.05	3.22	3.12	3.08	3.14	3.19	3.36	3.19	3.10	2.96	3.16	3.18	3.14	
	H27	3.10	3.25	3.15	3.12	3.25	3.21	3.29	3.24	3.14	3.22	3.29	3.21	3.20	
3	H25	3.23	3.25	3.24	3.02	2.99	3.07	3.00	2.95	3.10	3.01	3.07	3.05	3.11	
	H26	2.88	3.24	3.21	3.14	3.05	3.13	3.20	2.95	3.09	2.91	3.05	3.13	3.09	
	H27	3.12	3.23	3.26	3.16	3.21	3.16	3.14	3.07	3.14	3.19	3.21	3.17	3.18	
4	H25	3.36	3.28	3.17	2.96	3.09	3.16	2.94	3.09	3.16	3.08	3.13	3.13	3.14	
	H26	2.95	3.27	3.14	3.06	3.09	3.12	3.26	3.01	3.11	2.98	3.12	3.19	3.12	
	H27	3.21	3.31	3.22	3.14	3.24	3.15	3.20	3.14	3.13	3.20	3.26	3.18	3.20	
5	H25	3.83	3.56	3.67	3.57	3.88	3.91	3.93	3.95	3.59	3.63	3.26	3.31	3.76	
	H26	3.75	3.75	3.70	3.66	3.75	3.71	3.91	3.87	3.78	3.62	3.71	3.79	3.74	
	H27	3.79	3.77	3.80	3.77	3.67	3.71	3.83	3.85	3.83	3.81	3.84	3.77	3.79	
6	H25	3.57	3.42	3.48	3.29	3.44	3.54	3.54	3.49	3.39	3.37	3.25	3.33	3.46	
	H26	3.42	3.42	3.46	3.34	3.41	3.44	3.67	3.49	3.42	3.18	3.31	3.42	3.40	
	H27	3.48	3.47	3.46	3.37	3.40	3.42	3.55	3.54	3.40	3.34	3.45	3.38	3.43	
7	H25	3.28	3.24	3.28	3.15	3.04	3.19	3.04	2.98	3.11	3.01	3.06	3.08	3.15	
	H26	3.02	3.23	3.27	3.20	3.11	3.23	3.24	3.02	3.06	2.93	3.09	3.15	3.14	
	H27	3.16	3.29	3.28	3.22	3.24	3.18	3.19	3.17	3.14	3.18	3.26	3.20	3.22	
8	H25	3.43	3.36	3.22	3.21	3.15	3.15	3.24	3.17	3.25	3.21	3.13	3.20	3.23	
	H26	3.16	3.32	3.17	3.15	3.13	3.20	3.37	3.14	3.21	3.06	3.15	3.28	3.20	
	H27	3.27	3.36	3.29	3.19	3.25	3.18	3.29	3.27	3.25	3.25	3.31	3.27	3.27	
9	H25	3.22	3.22	3.07	3.00	2.93	3.01	2.94	2.80	3.03	2.98	3.02	3.02	3.02	
	H26	2.93	3.13	3.02	3.02	3.01	3.08	3.16	2.91	2.97	2.93	3.04	3.07	3.03	
	H27	3.07	3.18	3.12	3.12	3.15	3.08	3.11	3.02	3.09	3.13	3.22	3.14	3.13	
10	H25	3.52	3.39	3.51	3.29	3.34	3.40	3.44	3.44	3.31	3.34	3.24	3.28	3.43	
	H26	3.30	3.39	3.49	3.28	3.32	3.35	3.58	3.46	3.31	3.13	3.24	3.34	3.34	
	H27	3.36	3.41	3.49	3.26	3.36	3.36	3.45	3.44	3.31	3.28	3.36	3.33	3.36	
11	H25	3.35	3.25	3.15	3.07	3.13	3.18	3.23	3.06	3.16	3.09	3.14	3.12	3.17	
	H26	3.11	3.22	3.17	3.09	3.16	3.22	3.39	3.06	3.11	3.01	3.13	3.19	3.15	
	H27	3.20	3.31	3.25	3.18	3.20	3.18	3.30	3.16	3.21	3.18	3.27	3.23	3.22	



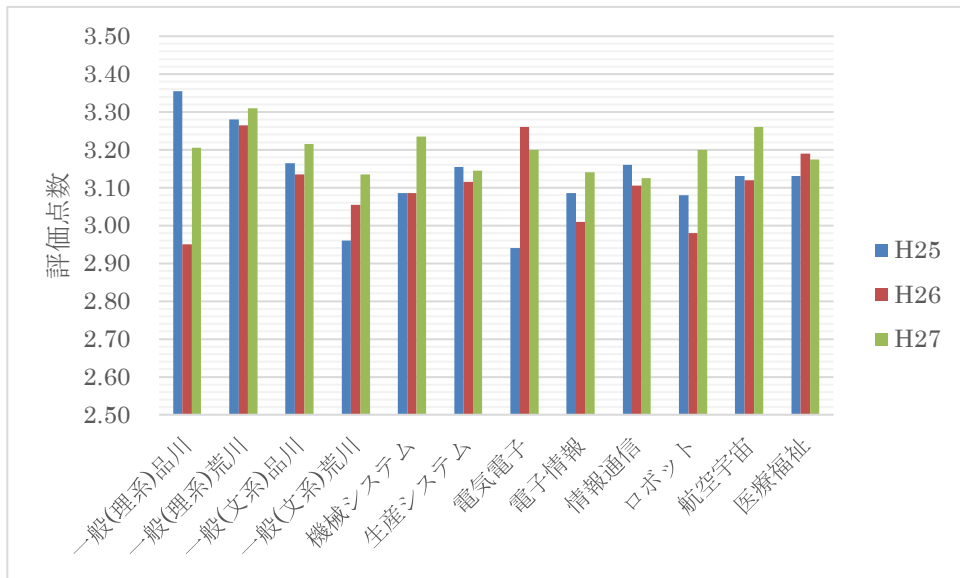
(a) 座学系 質問1に対するアンケート結果



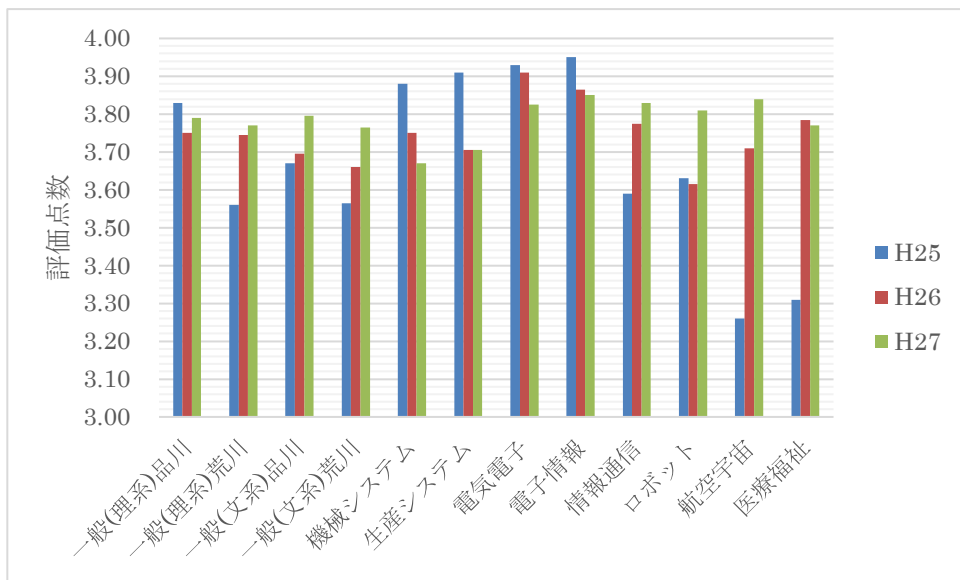
(b) 座学系 質問2に対するアンケート結果



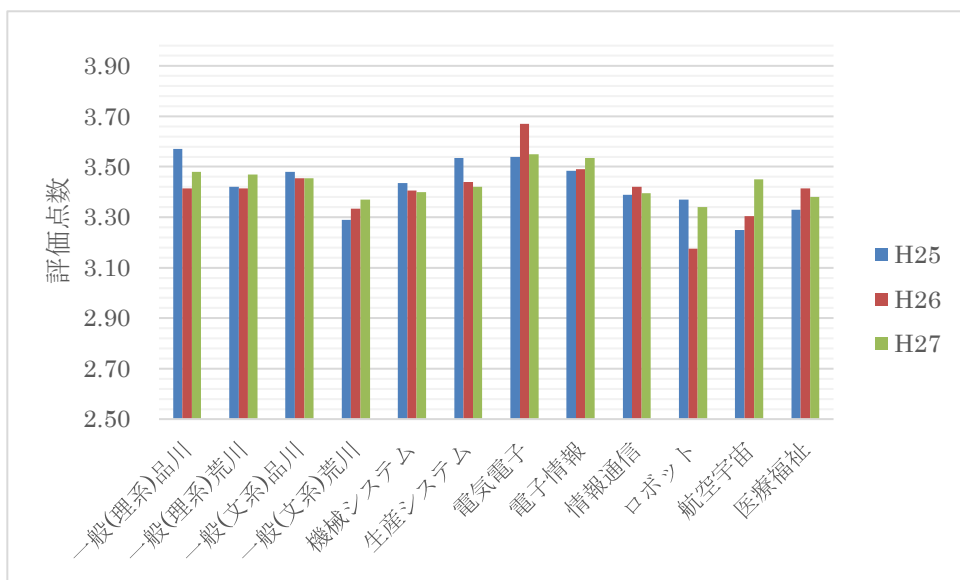
(c) 座学系 質問3に対するアンケート結果



(d) 座学系 質問4に対するアンケート結果

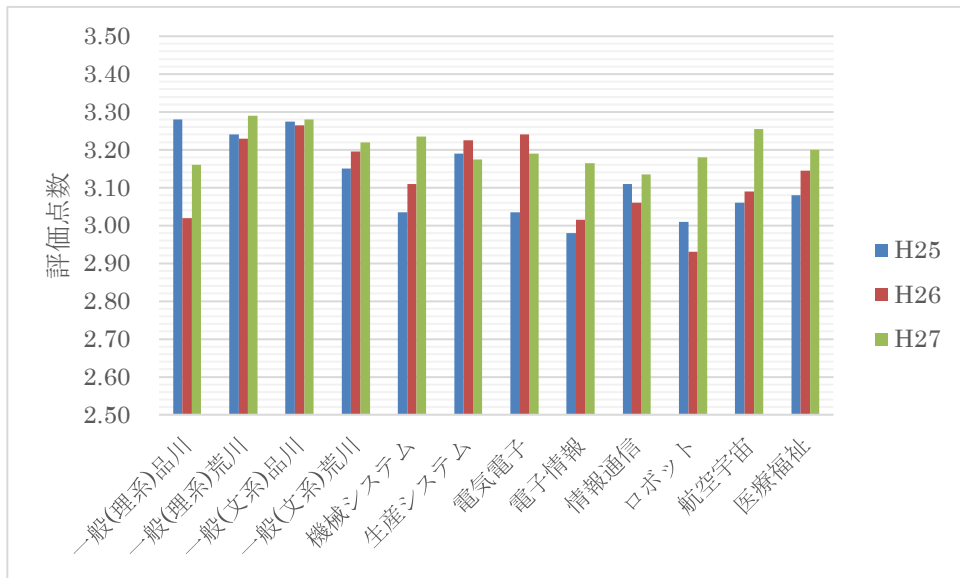


(e) 座学系 質問5に対するアンケート結果

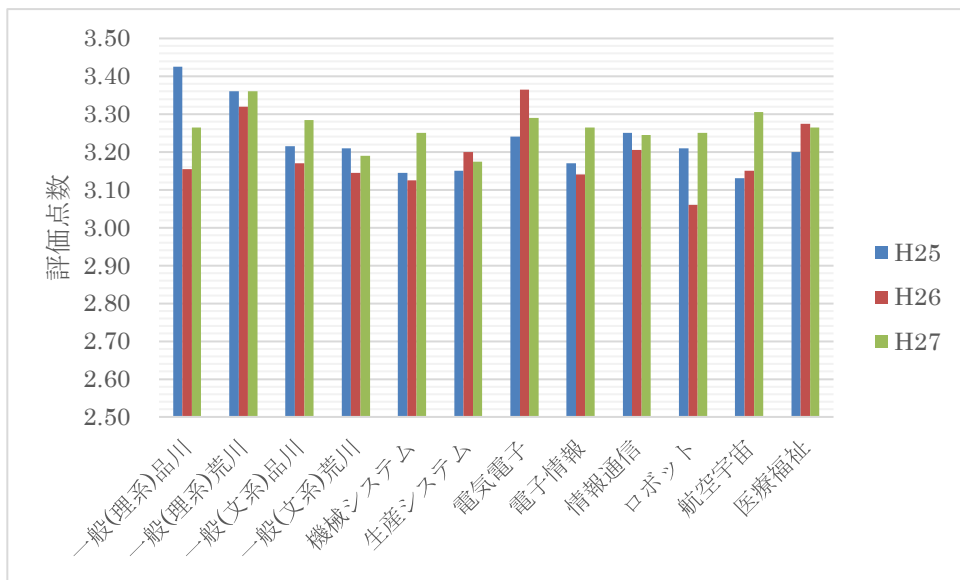


(f) 座学系 質問6に対するアンケート結果

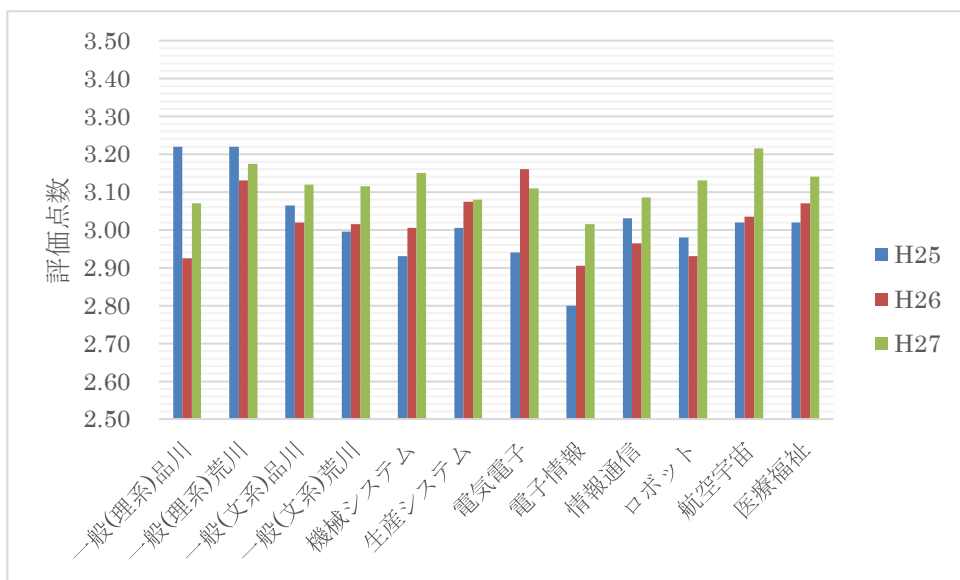




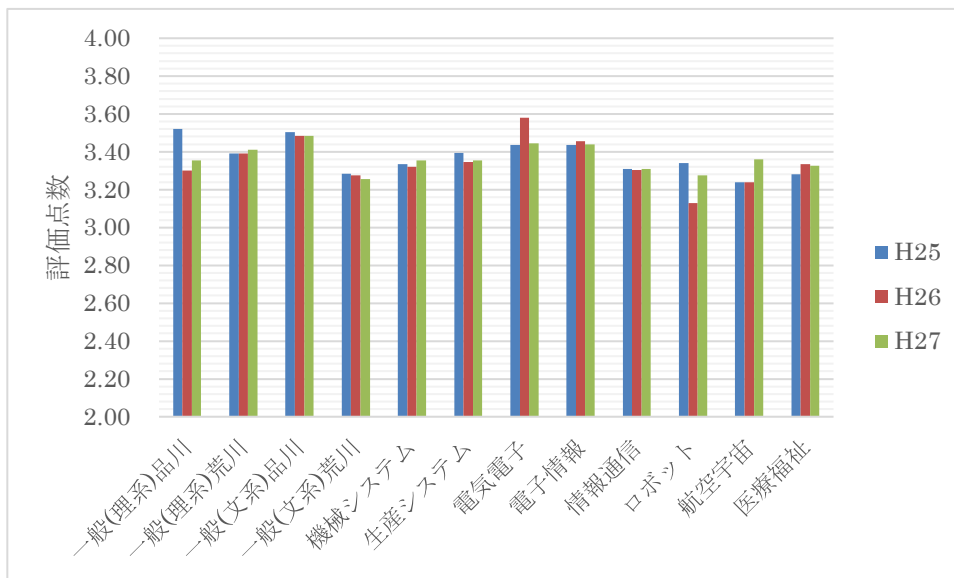
(g) 座学系 質問7に対するアンケート結果



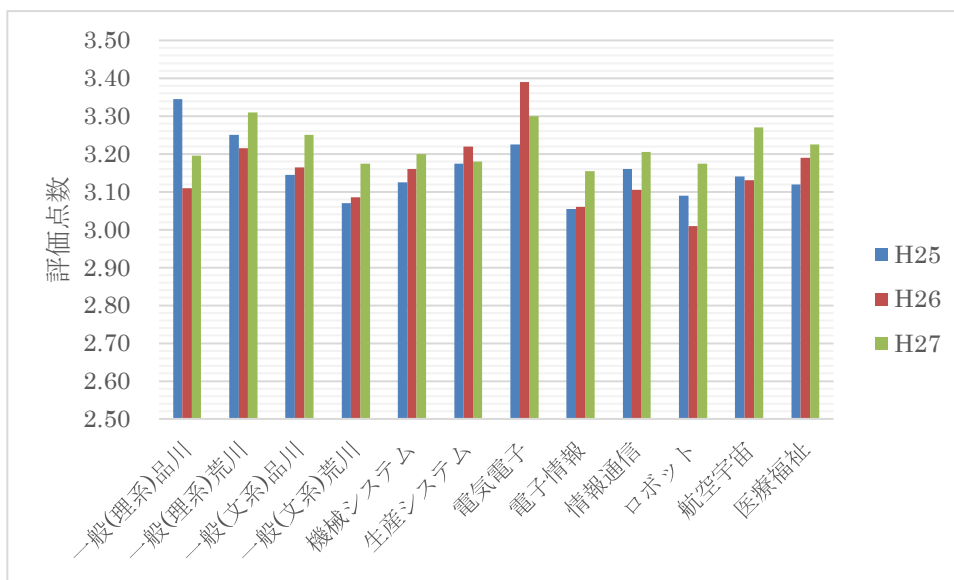
(h) 座学系 質問8に対するアンケート結果



(i) 座学系 質問9に対するアンケート結果



(j) 座学系 質問 10 に対するアンケート結果



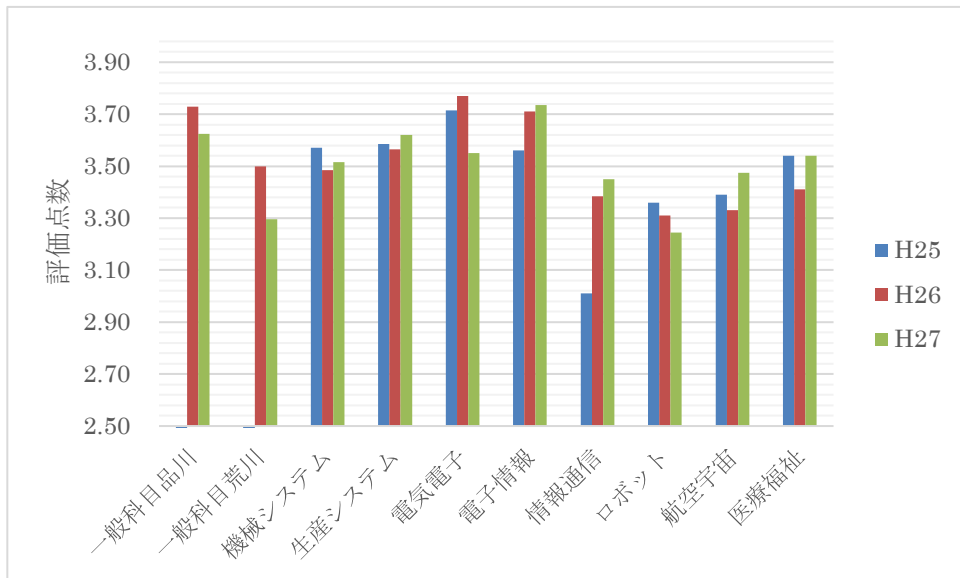
(k) 座学系 質問 11 に対するアンケート結果

図 4-1 平成 25 年度から 27 年度までの本科座学系アンケート結果

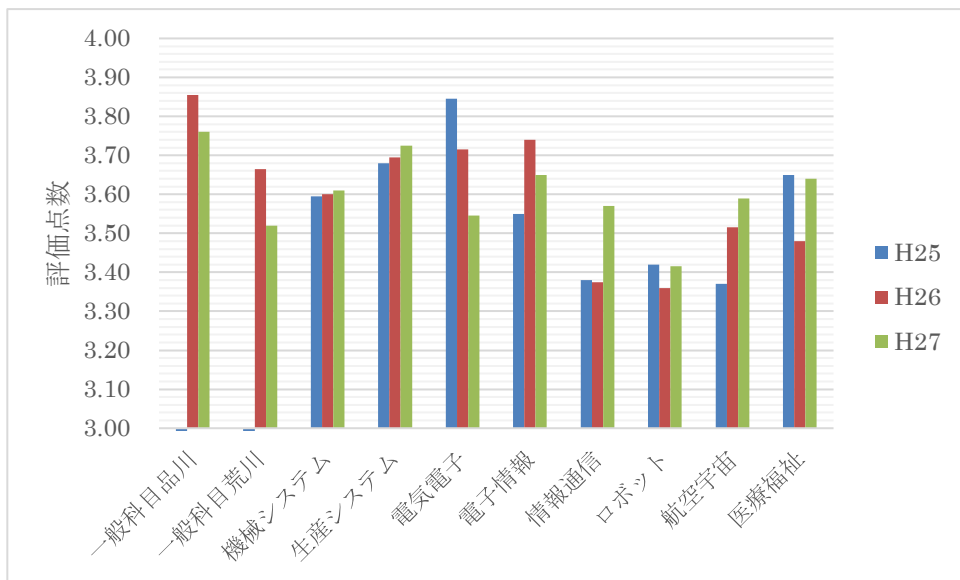
図 4-1 および図 4-2 の各結果から、ほとんどが 4 段階の評価で「3」を越えており、本校では授業が一定の水準以上になるように各教員が努力を続けているとすることができるだろう。その点では、質問 1 の「授業時間外でもこの科目の勉強をするように努めた（復習など）」は他の質問に対してやや点数が低いにも関わらず、年度が進むにつれて改善されているところが見受けられる。しかしながら、まだまだ工夫の余地があると思われる。座学系に比べて、実験実習系は総じて点が高いだけでなく、年度が進むにつれて一部を除いて評価点数が高い。また、コースによるばらつきも少ないところには高専と特色がよく表れているだろう。一方、実験実習から卒業研究までの展開は、確実に教育成果をあげつつあると評価できる。

表 4-2 平成 25 年度から 27 年度までの本科実験実習系アンケート結果

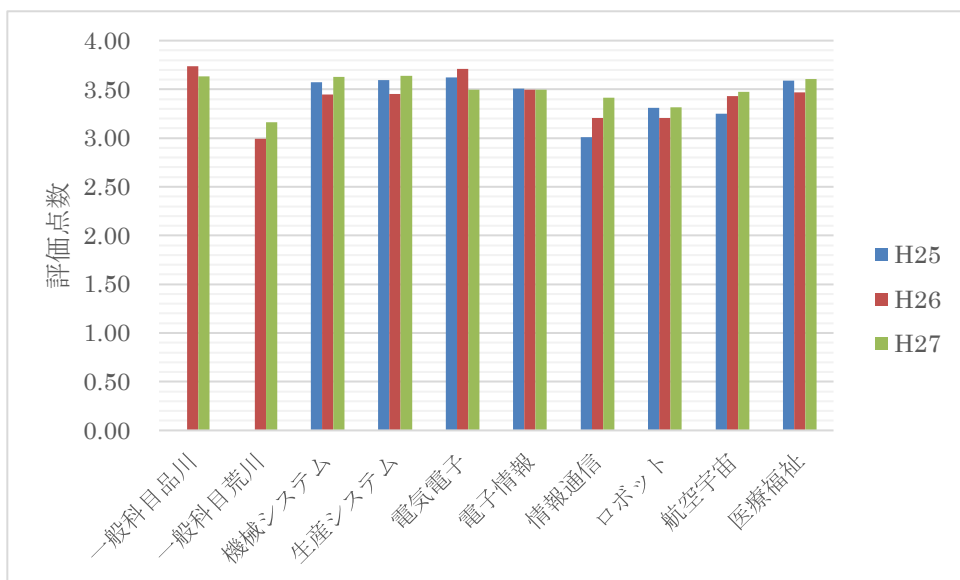
質問番号	年度	科目分類										全体
		一般科目		工学コース専門科目								
		品川	荒川	機械システム	生産システム	電気電子	電子情報	情報通信	ロボット	航空宇宙	医療福祉	
1	H25	0.00	0.00	3.57	3.59	3.72	3.56	3.01	3.36	3.39	3.54	3.53
	H26	3.73	3.50	3.49	3.57	3.77	3.71	3.39	3.31	3.33	3.41	3.55
	H27	3.63	3.30	3.52	3.62	3.55	3.74	3.45	3.25	3.48	3.54	3.49
2	H25	0.00	0.00	3.60	3.68	3.85	3.55	3.38	3.42	3.37	3.65	3.60
	H26	3.86	3.67	3.60	3.70	3.72	3.74	3.38	3.36	3.52	3.48	3.65
	H27	3.76	3.52	3.61	3.73	3.55	3.65	3.57	3.42	3.59	3.64	3.61
3	H25	0.00	0.00	3.58	3.60	3.62	3.51	3.01	3.31	3.25	3.59	3.51
	H26	3.74	3.00	3.45	3.45	3.71	3.50	3.21	3.21	3.43	3.47	3.36
	H27	3.64	3.16	3.63	3.64	3.50	3.50	3.42	3.32	3.48	3.61	3.48
4	H25	0.00	0.00	3.50	3.28	3.39	3.17	3.04	3.24	3.05	3.38	3.32
	H26	3.38	2.74	3.40	3.18	3.72	3.47	3.10	3.17	3.23	3.41	3.19
	H27	3.31	2.94	3.51	3.26	3.47	3.53	3.38	3.25	3.44	3.51	3.32
5	H25	0.00	0.00	3.94	3.76	3.93	3.81	3.51	3.58	3.27	3.51	3.80
	H26	3.92	3.68	3.77	3.86	3.88	3.79	3.79	3.73	3.73	3.82	3.78
	H27	3.83	3.59	3.81	3.88	3.79	3.82	3.81	3.81	3.81	3.85	3.78
6	H25	0.00	0.00	3.58	3.65	3.65	3.58	3.39	3.31	3.35	3.54	3.54
	H26	3.78	3.12	3.52	3.55	3.78	3.62	3.40	3.34	3.38	3.43	3.43
	H27	3.59	3.18	3.54	3.60	3.61	3.69	3.58	3.41	3.54	3.66	3.50
7	H25	0.00	0.00	3.43	3.40	3.29	3.23	2.99	3.16	3.22	3.47	3.32
	H26	3.55	2.67	3.40	3.41	3.59	3.24	3.12	3.06	3.31	3.37	3.17
	H27	3.45	2.79	3.46	3.48	3.35	3.43	3.31	3.27	3.42	3.51	3.31
8	H25	0.00	0.00	3.33	3.37	3.41	3.36	3.11	3.22	3.18	3.54	3.32
	H26	3.32	2.69	3.33	3.28	3.56	3.25	3.23	3.21	3.38	3.43	3.16
	H27	3.13	2.69	3.50	3.42	3.37	3.44	3.48	3.39	3.50	3.47	3.27
9	H25	0.00	0.00	3.42	3.41	3.05	3.11	2.92	3.18	3.13	3.39	3.26
	H26	3.18	2.59	3.39	3.31	3.59	3.28	3.01	3.14	3.33	3.26	3.11
	H27	3.14	2.69	3.39	3.38	3.28	3.44	3.28	3.20	3.38	3.41	3.20
10	H25	0.00	0.00	3.54	3.61	3.52	3.45	3.22	3.30	3.23	3.61	3.48
	H26	3.74	3.21	3.55	3.41	3.79	3.54	3.22	3.24	3.34	3.42	3.43
	H27	3.64	3.12	3.53	3.54	3.54	3.58	3.39	3.35	3.48	3.60	3.45
11	H25	0.00	0.00	3.52	3.55	3.32	3.33	3.18	3.17	3.25	3.51	3.39
	H26	3.24	2.67	3.46	3.46	3.74	3.42	3.20	3.20	3.37	3.35	3.18
	H27	3.18	2.72	3.51	3.47	3.48	3.50	3.45	3.30	3.47	3.47	3.28



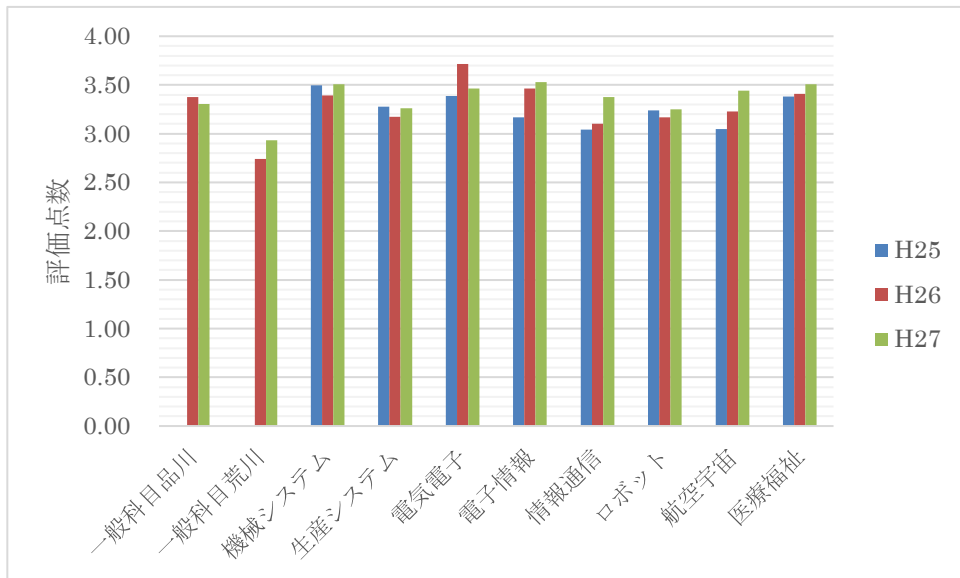
(a) 実験実習系 質問1に対するアンケート結果



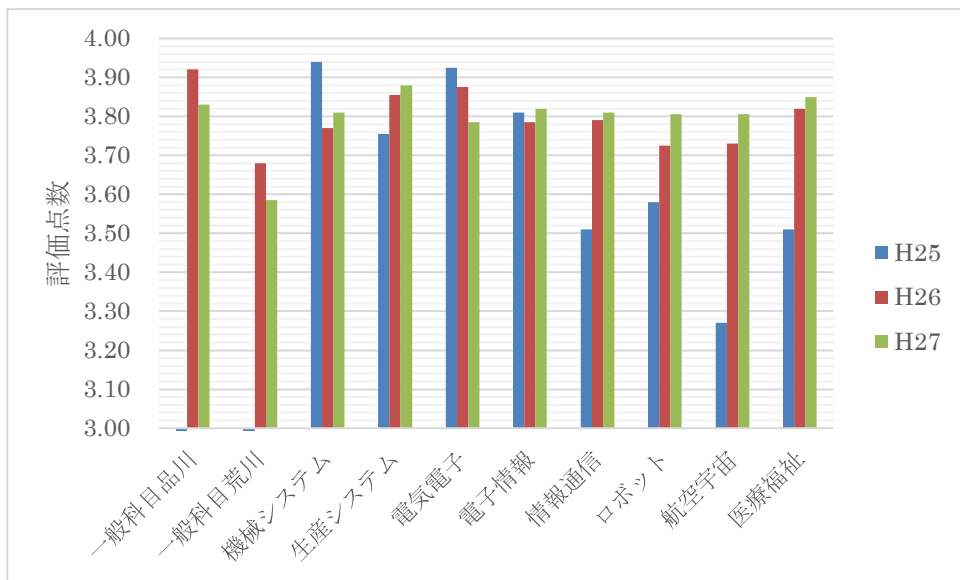
(b) 実験実習系 質問2に対するアンケート結果



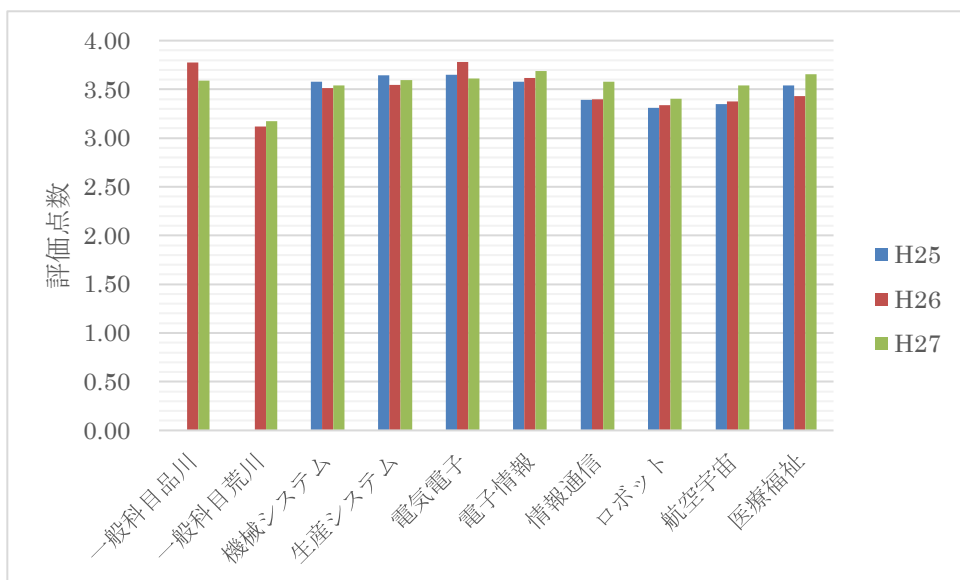
(c) 実験実習系 質問3に対するアンケート結果



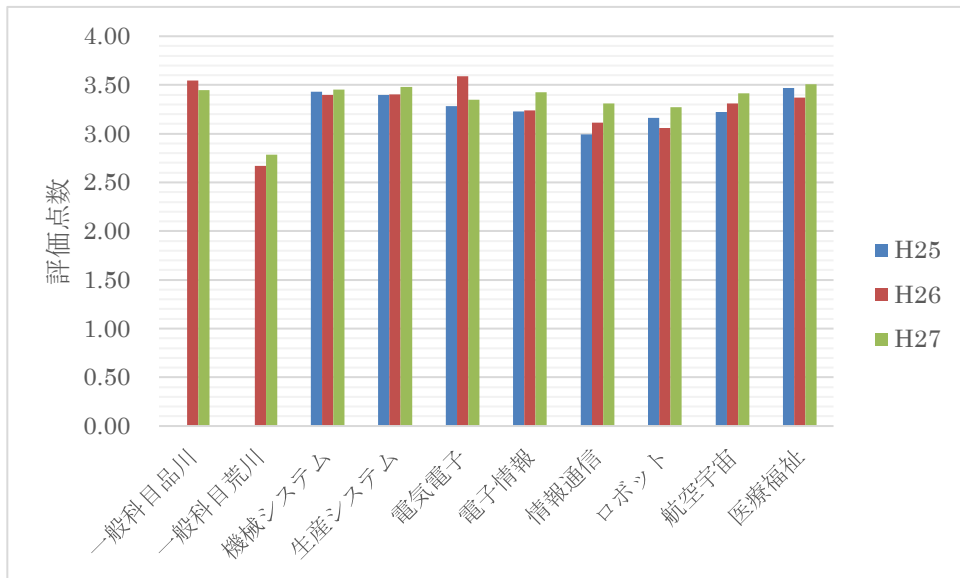
(d) 実験実習系 質問4に対するアンケート結果



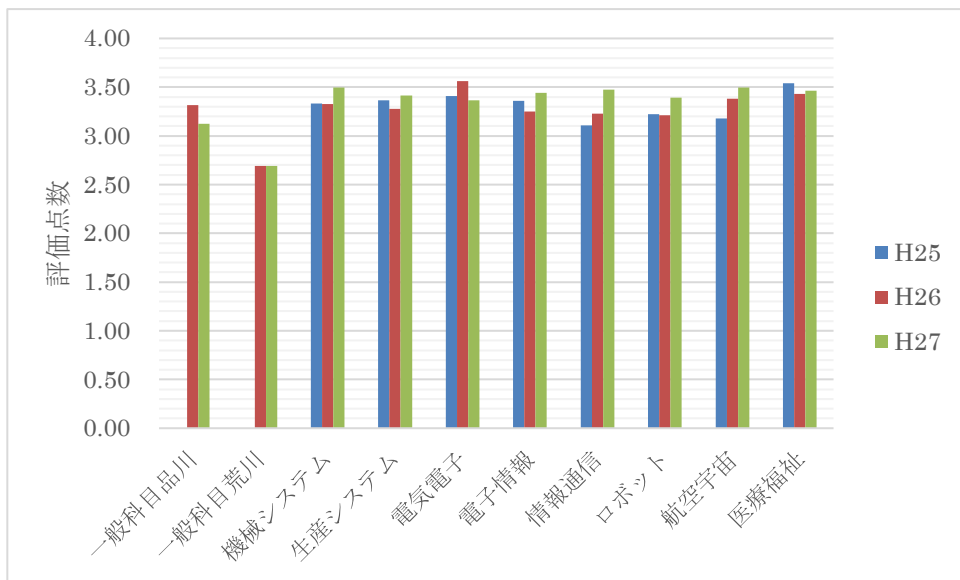
(e) 実験実習系 質問5に対するアンケート結果



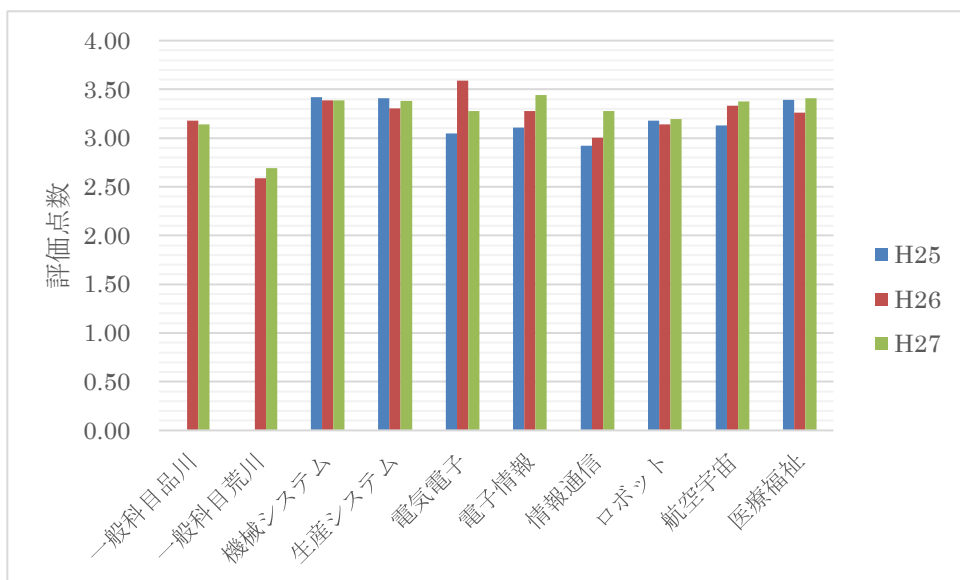
(f) 実験実習系 質問6に対するアンケート結果



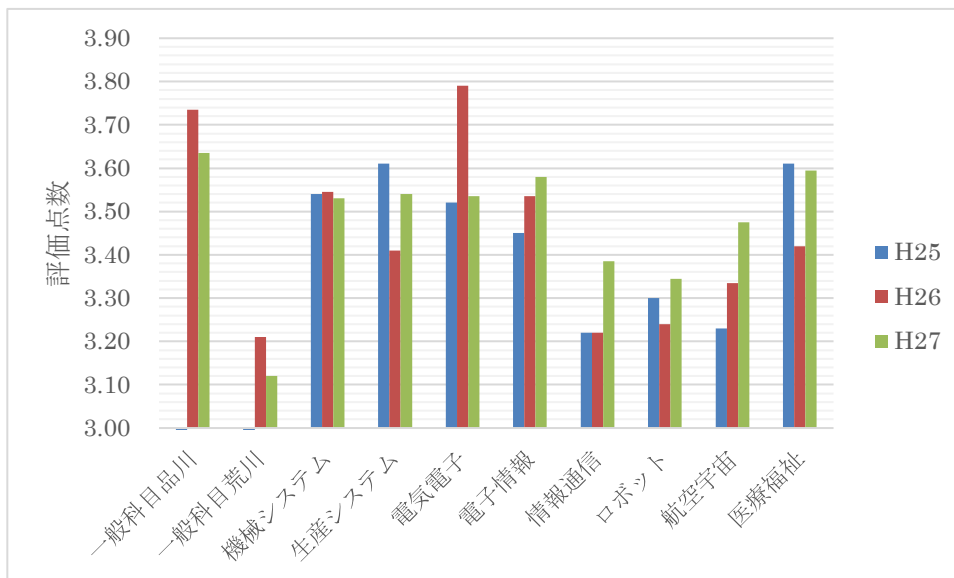
(g) 実験実習系 質問7に対するアンケート結果



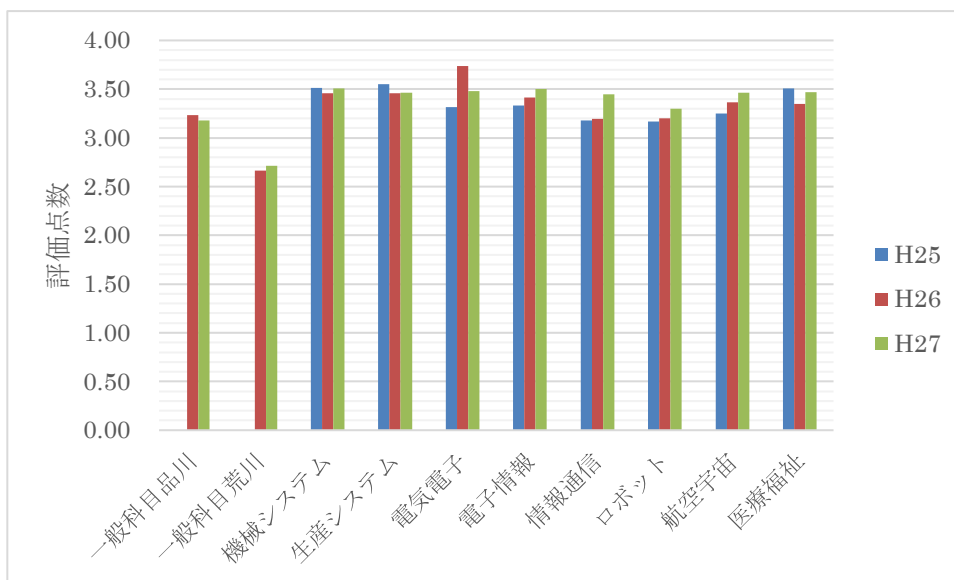
(h) 実験実習系 質問8に対するアンケート結果



(i) 実験実習系 質問9に対するアンケート結果



(j) 実験実習系 質問 10 に対するアンケート結果



(k) 実験実習系 質問 11 に対するアンケート結果

図 4-2 平成 25 年度から 27 年度までの本科実験実習系アンケート結果

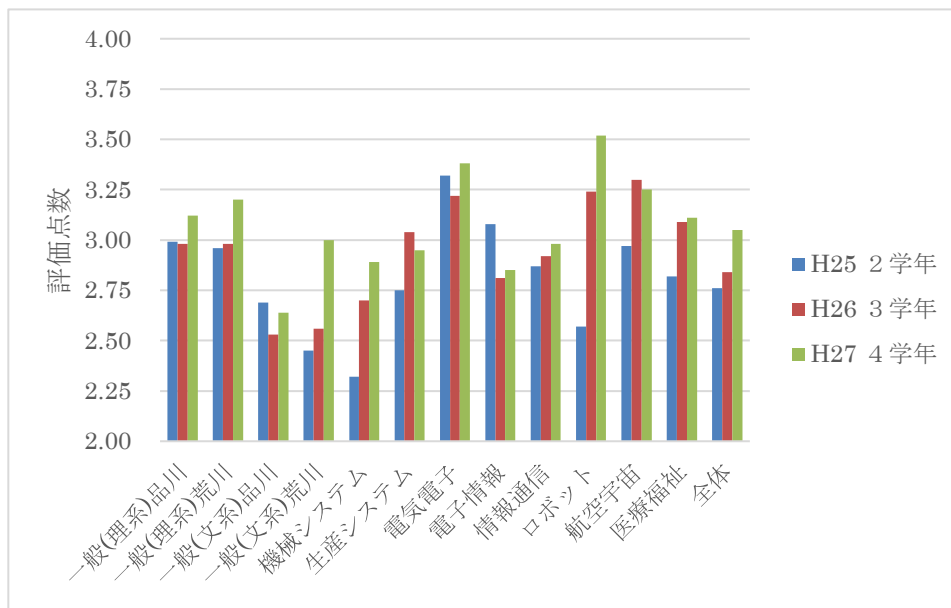
平成 25 年度から 27 年度までの授業アンケートの結果をしてみると、26 年度の電気電子工学コースについて高い評価であったことが報告されたが、27 年度の結果から各工学コースがほぼ均一的に並んでおり、26 年度が一時的なものであったように推察することができる。今後、長期的に経過を観察する必要があると考えられる。表 4-1 や表 4-2 に基づく図 4-1 や図 4-2 からは、各年度で比較しても傾向がわかりにくい。そこで、一学年について着目して高学年になるにつれてアンケート結果（評価点数）がどのように変遷するのかを追ってみた。各質問に対して、平成 25 年度の第 2 学年から 26 年度の第 3 学年、27 年度の第 4 学年のアンケート結果（表 4-3）に基づいて図 4-3(a)から図 4-3(k)を示す。この結果から、いずれの質問内容についても学年が上がるにつれて、一般科目から各工学コースまでのほとんどの評価点数が上がっていることがわかる。このことから、高学になるにつれて授業への評価が高くなっているように考えられる。しかし、各学年が同様に授業に対する評価が高くなっていくのだろうか。次に、平成 25 年度の第 3 学年から 26 年度の第 4 学年、27 年度の第 5 学年について着目してみることにする。

表 4-3 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した本科後期座学系アンケート結果

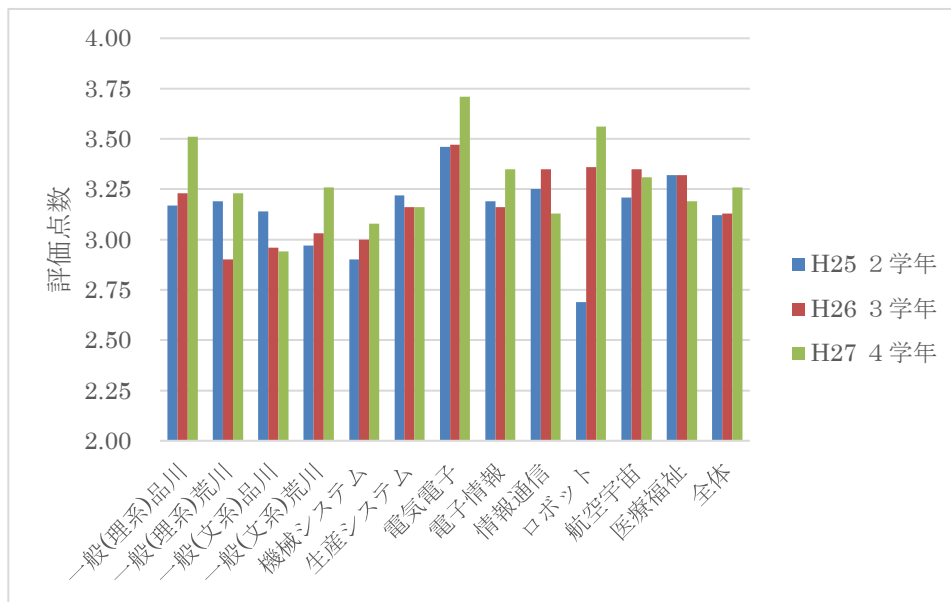
質問番号	年度と学年	科目分類												全体
		一般科目(理系)		一般科目(文系)		工学コース専門科目								
		品川	荒川	品川	荒川	機械システム	生産システム	電気電子	電子情報	情報通信	ロボット	航空宇宙	医療福祉	
1	H25 2 学年	2.99	2.96	2.69	2.45	2.32	2.75	3.32	3.08	2.87	2.57	2.97	2.82	2.76
	H26 3 学年	2.98	2.98	2.53	2.56	2.70	3.04	3.22	2.81	2.92	3.24	3.30	3.09	2.84
	H27 4 学年	3.12	3.20	2.64	3.00	2.89	2.95	3.38	2.85	2.98	3.52	3.25	3.11	3.05
2	H25 2 学年	3.17	3.19	3.14	2.97	2.90	3.22	3.46	3.19	3.25	2.69	3.21	3.32	3.12
	H26 3 学年	3.23	2.90	2.96	3.03	3.00	3.16	3.47	3.16	3.35	3.36	3.35	3.32	3.13
	H27 4 学年	3.51	3.23	2.94	3.26	3.08	3.16	3.71	3.35	3.13	3.56	3.31	3.19	3.26
3	H25 2 学年	3.24	3.21	3.16	3.00	2.60	3.03	3.10	2.78	3.16	2.73	3.16	3.15	3.10
	H26 3 学年	3.36	2.85	3.05	3.03	2.85	3.04	3.23	2.94	3.36	3.33	3.24	3.28	3.11
	H27 4 学年	3.54	3.19	3.08	3.28	3.11	3.13	3.61	3.21	3.13	3.53	3.18	3.16	3.25
4	H25 2 学年	3.39	3.27	2.96	2.89	2.83	3.09	3.28	3.01	3.23	2.82	3.17	3.18	3.08
	H26 3 学年	3.35	2.96	3.08	3.05	2.97	3.12	3.36	2.94	3.37	3.36	3.26	3.28	3.15
	H27 4 学年	3.61	3.26	3.03	3.25	3.11	3.13	3.66	3.20	3.11	3.58	3.21	3.17	3.25
5	H25 2 学年	3.61	3.30	3.30	3.32	3.75	3.81	3.97	3.68	3.27	3.41	3.19	3.09	3.39
	H26 3 学年	3.85	3.63	3.79	3.70	3.73	3.63	3.95	3.74	3.85	3.86	3.77	3.85	3.77
	H27 4 学年	4.00	3.81	3.58	3.85	3.63	3.58	3.96	3.86	3.71	3.99	3.91	3.76	3.79
6	H25 2 学年	3.59	3.36	3.47	3.22	3.28	3.39	3.53	3.47	3.33	2.93	3.39	3.34	3.38
	H26 3 学年	3.61	3.22	3.44	3.28	3.3	3.38	3.73	3.45	3.57	3.45	3.49	3.39	3.42
	H27 4 学年	3.72	3.35	3.35	3.47	3.35	3.31	3.78	3.70	3.31	3.67	3.49	3.38	3.48
7	H25 2 学年	3.21	3.23	3.13	3.02	2.76	3.03	3.27	2.84	3.23	2.69	3.14	3.21	3.11
	H26 3 学年	3.35	2.79	3.08	3.08	3.00	3.16	3.37	3.02	3.34	3.28	3.32	3.29	3.15
	H27 4 学年	3.55	3.14	3.05	3.28	3.08	3.10	3.65	3.27	3.12	3.47	3.25	3.17	3.25
8	H25 2 学年	3.37	3.33	3.05	3.04	2.92	3.13	3.41	2.99	3.32	2.89	3.24	3.06	3.15
	H26 3 学年	3.41	3.12	3.07	3.08	3.08	3.18	3.49	3.27	3.43	3.36	3.39	3.30	3.21
	H27 4 学年	3.57	3.24	3.08	3.28	3.14	3.18	3.71	3.33	3.23	3.54	3.32	3.27	3.31
9	H25 2 学年	3.19	3.20	2.92	2.89	2.86	3.08	3.32	2.77	3.18	2.68	3.20	3.16	3.02
	H26 3 学年	3.32	2.82	2.85	2.91	2.91	3.09	3.30	2.99	3.27	3.30	3.25	3.22	3.04
	H27 4 学年	3.41	3.06	2.92	3.25	3.09	3.06	3.53	3.09	3.10	3.45	3.30	3.18	3.20
10	H25 2 学年	3.42	3.35	3.40	3.17	2.92	3.19	3.52	3.39	3.30	2.83	3.14	3.29	3.30
	H26 3 学年	3.48	3.06	3.30	3.19	3.18	3.30	3.66	3.38	3.51	3.41	3.40	3.34	3.32
	H27 4 学年	3.64	3.33	3.33	3.39	3.32	3.24	3.77	3.42	3.26	3.56	3.35	3.31	3.40
11	H25 2 学年	3.33	3.21	3.08	2.92	2.88	3.16	3.54	3.35	3.25	2.69	3.29	3.20	3.12
	H26 3 学年	3.34	2.88	3.00	2.99	3.13	3.14	3.54	3.13	3.38	3.26	3.37	3.32	3.15
	H27 4 学年	3.51	3.20	3.12	3.33	3.14	3.10	3.67	3.29	3.24	3.46	3.35	3.21	3.30



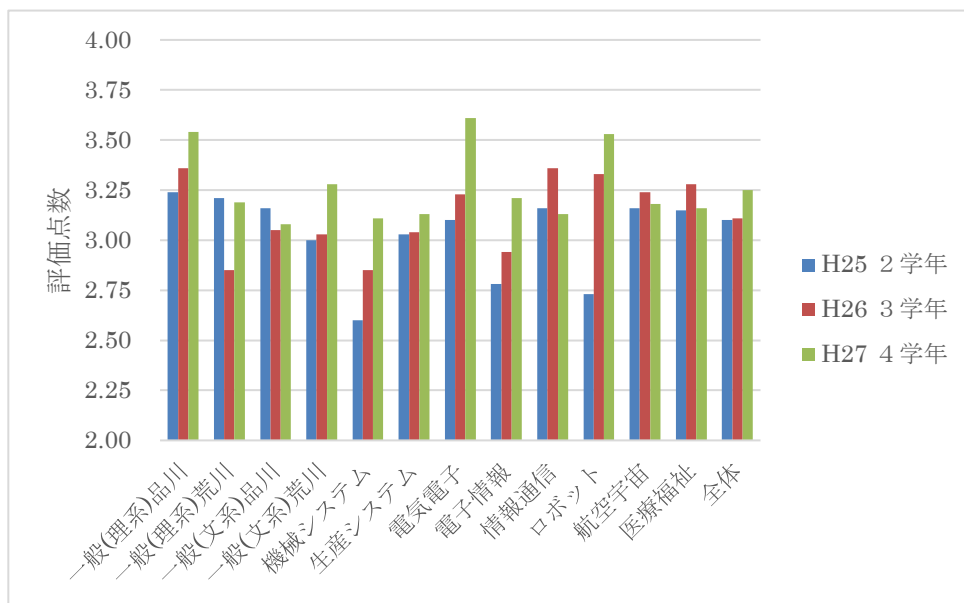
表 4-3 および表 4-4 の授業アンケート結果と、これに基づく図 4-3 および図 4-4 のグラフは、各コースのデータが得られた座学系の後期授業を対象にしている。図 4-3 では、横軸は各科目について平成 25 年度に 2 学年のときから 27 年度に 4 学年のときまでを並べ、縦軸は評価点数としている。図 4-4 では、横軸は各科目について平成 25 年度に 3 学年のときから 27 年度に 5 学年のときまでを並べている。



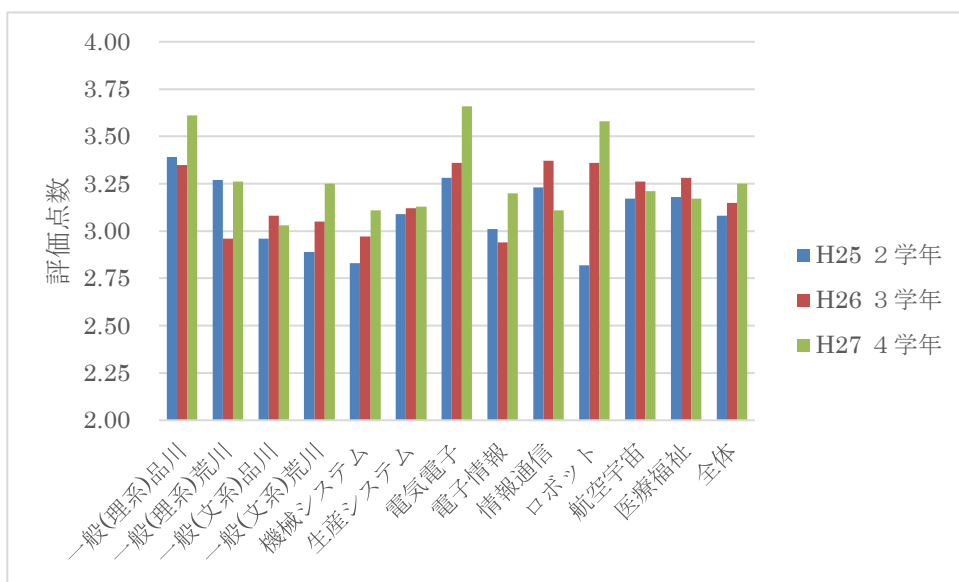
(a) 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 1 に対する結果



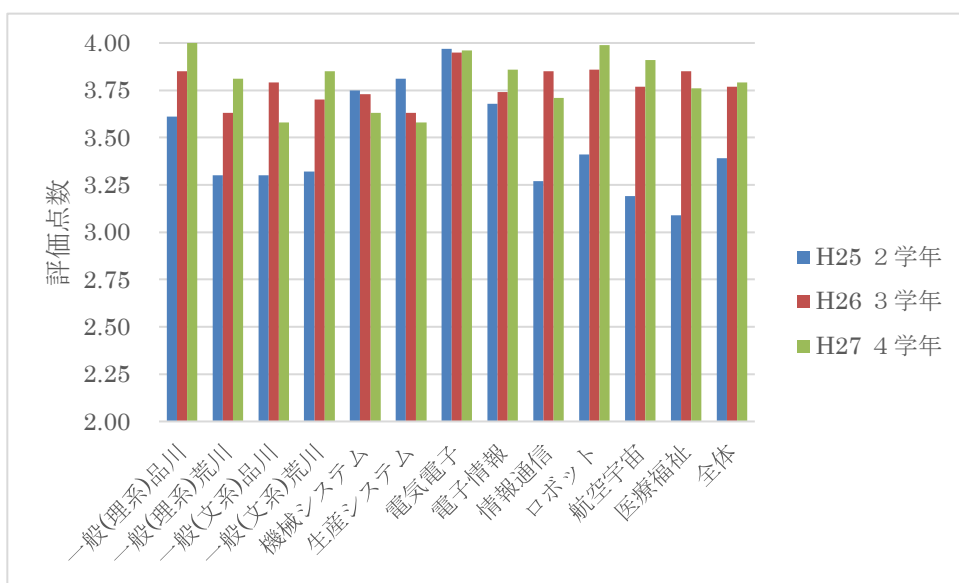
(b) 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 2 に対する結果



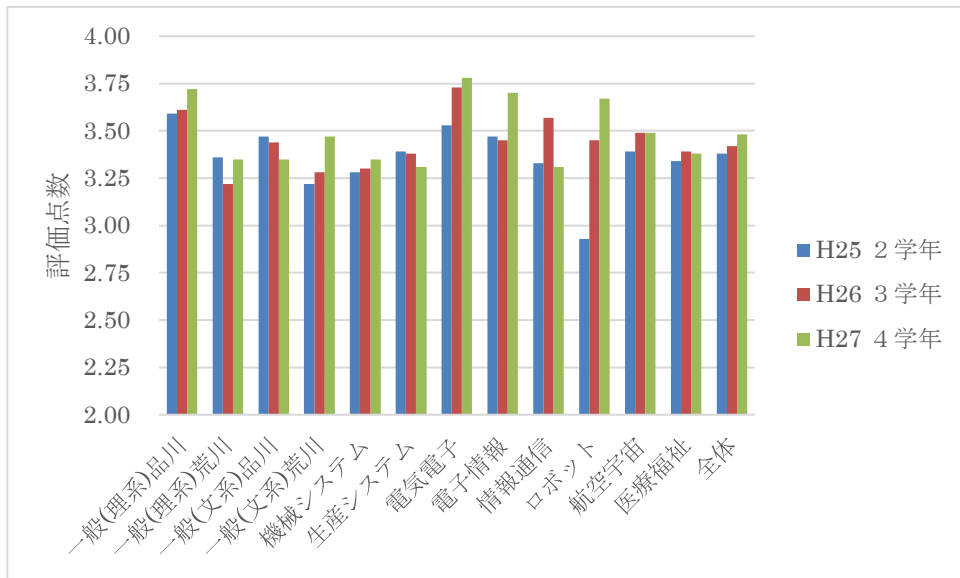
(c) 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 3 に対する結果



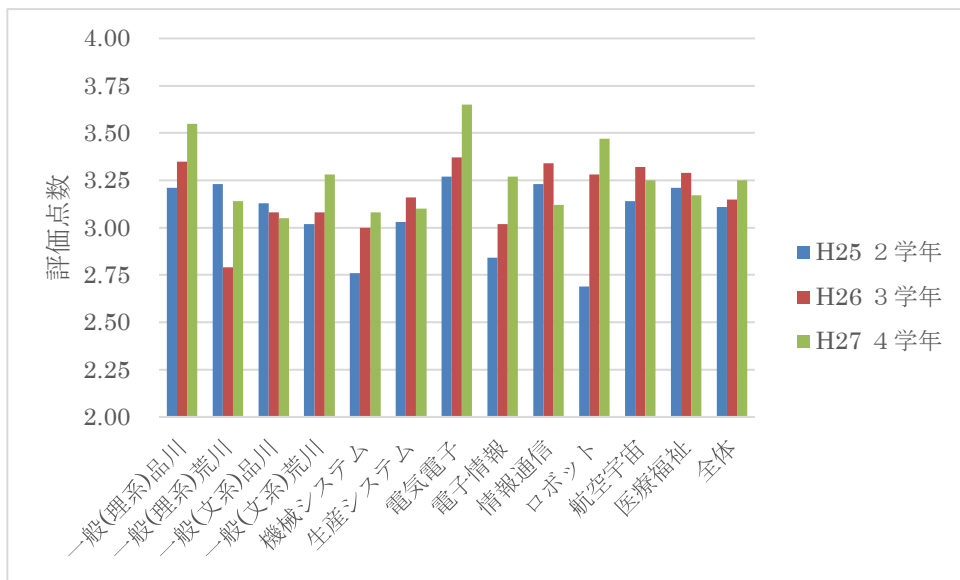
(d) 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 4 に対する結果



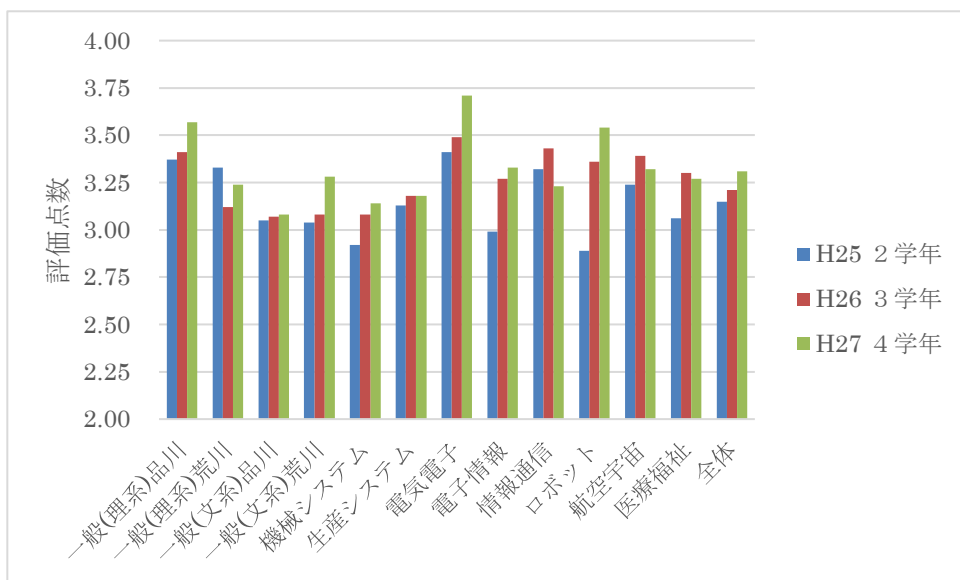
(e) 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 5 に対する結果



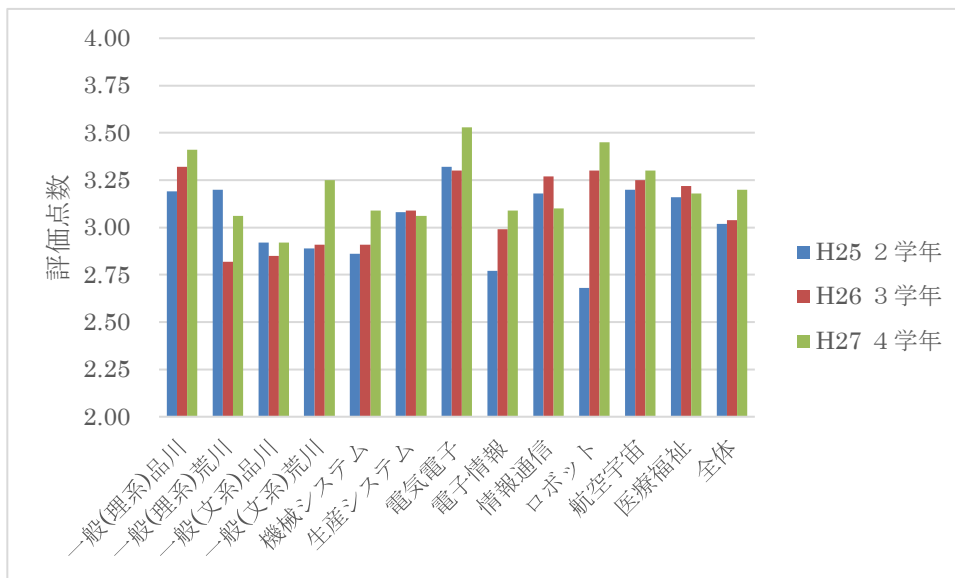
(f) 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 6 に対する結果



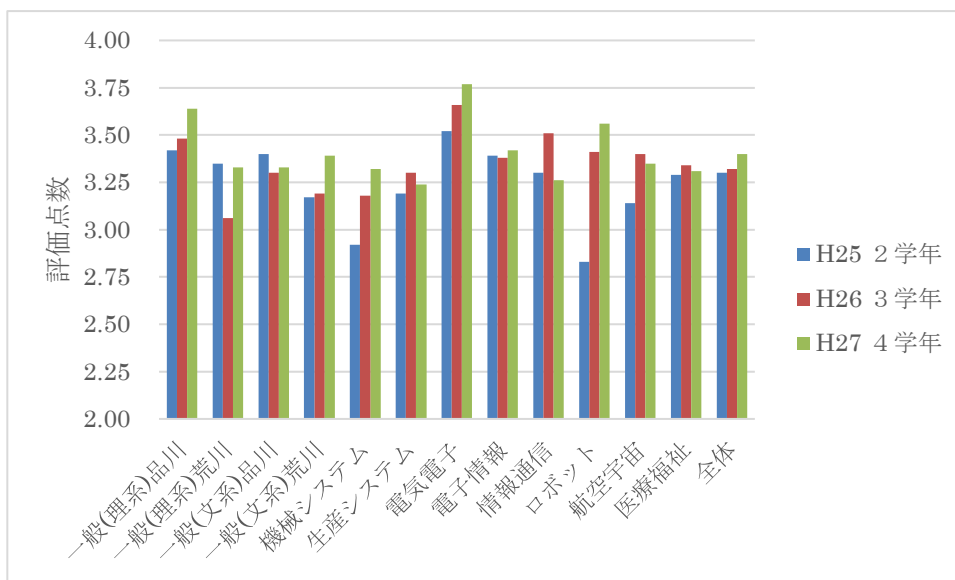
(g) 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 7 に対する結果



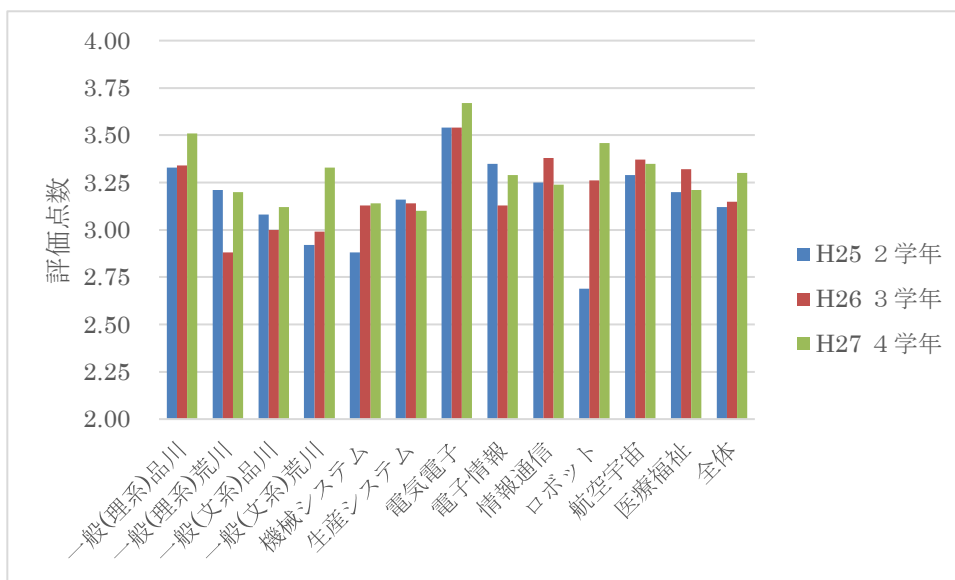
(h) 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 8 に対する結果



(i) 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 9 に対する結果



(j) 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 10 に対する結果

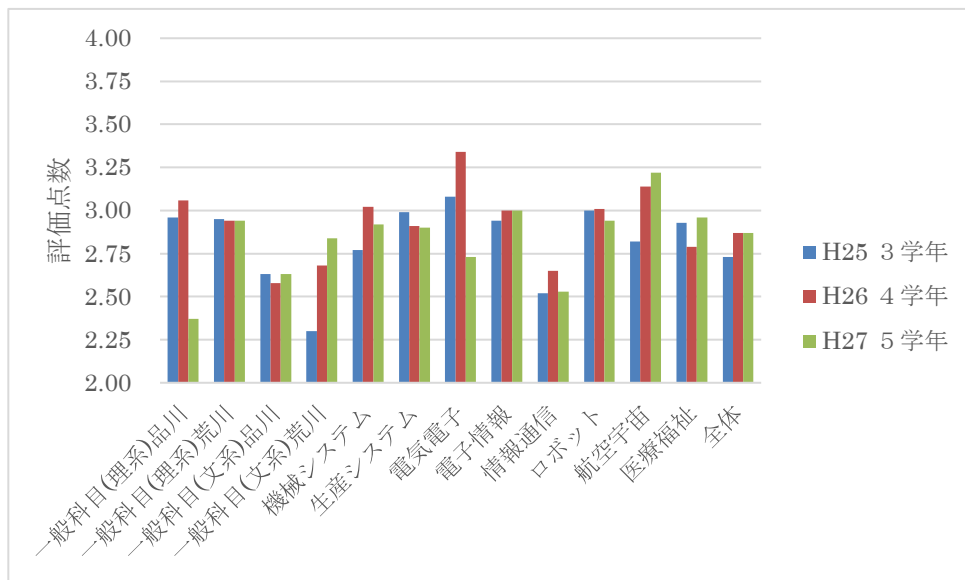


(k) 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 11 に対する結果

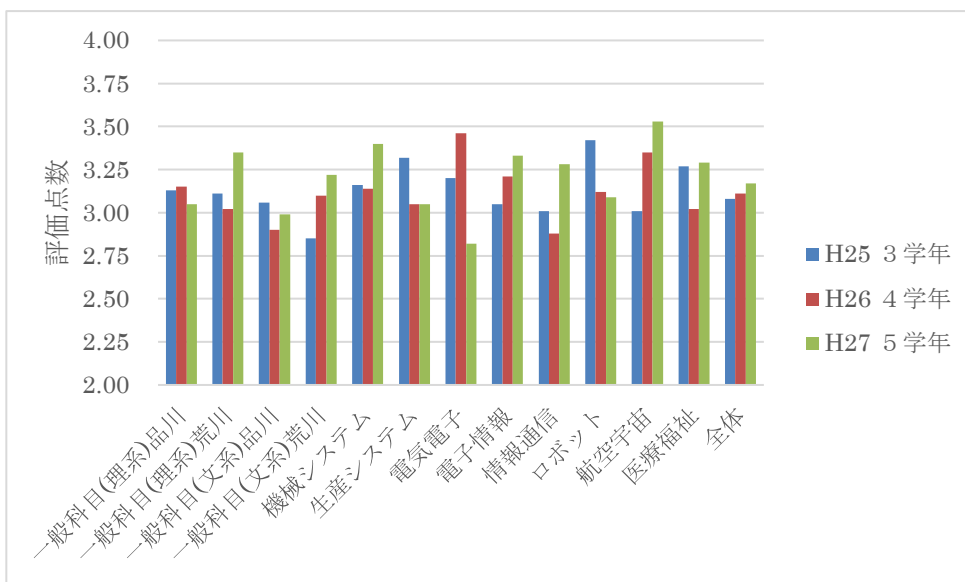
図 4-3 平成 25 年度 2 学年から 27 年度 4 学年までの一学年に着目した本科後期座学系アンケート結果

表 4-4 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した本科後期座学系アンケート結果

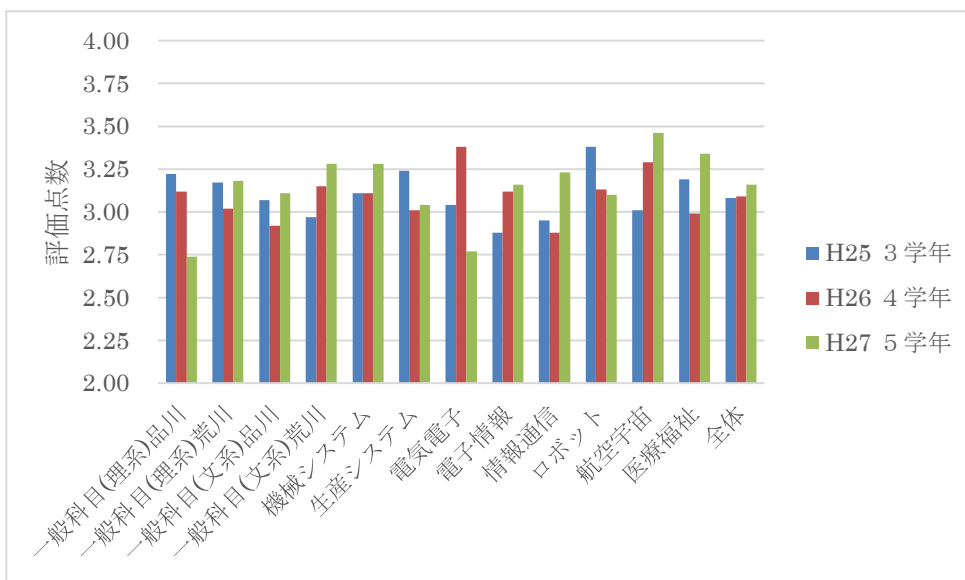
質問 番号	年度と学年	科目分類												全体
		一般科目（理系）		一般科目（文系）		工学コース専門科目								
		品川	荒川	品川	荒川	機械シ ステム	生産シ ステム	電気 電子	電子 情報	情報 通信	ロボ ット	航空 宇宙	医療 福祉	
1	H25 3 学年	2.96	2.95	2.63	2.30	2.77	2.99	3.08	2.94	2.52	3.00	2.82	2.93	2.73
	H26 4 学年	3.06	2.94	2.58	2.68	3.02	2.91	3.34	3.00	2.65	3.01	3.14	2.79	2.87
	H27 5 学年	2.37	2.94	2.63	2.84	2.92	2.90	2.73	3.00	2.53	2.94	3.22	2.96	2.87
2	H25 3 学年	3.13	3.11	3.06	2.85	3.16	3.32	3.20	3.05	3.01	3.42	3.01	3.27	3.08
	H26 4 学年	3.15	3.02	2.90	3.10	3.14	3.05	3.46	3.21	2.88	3.12	3.35	3.02	3.11
	H27 5 学年	3.05	3.35	2.99	3.22	3.40	3.05	2.82	3.33	3.28	3.09	3.53	3.29	3.17
3	H25 3 学年	3.22	3.17	3.07	2.97	3.11	3.24	3.04	2.88	2.95	3.38	3.01	3.19	3.08
	H26 4 学年	3.12	3.02	2.92	3.15	3.11	3.01	3.38	3.12	2.88	3.13	3.29	2.99	3.09
	H27 5 学年	2.74	3.18	3.11	3.28	3.28	3.04	2.77	3.16	3.23	3.10	3.46	3.34	3.16
4	H25 3 学年	3.30	3.18	2.99	2.92	3.16	3.28	3.07	2.85	2.98	3.42	3.07	3.22	3.07
	H26 4 学年	3.17	3.11	2.81	3.05	3.06	3.11	3.49	3.21	2.83	3.14	3.35	3.06	3.09
	H27 5 学年	2.89	3.35	3.12	3.26	3.35	3.13	2.86	3.19	3.24	3.10	3.55	3.28	3.19
5	H25 3 学年	3.51	3.79	3.22	3.67	3.38	3.80	3.67	3.81	3.86	3.90	3.34	3.76	3.58
	H26 4 学年	3.80	3.74	3.56	3.70	3.57	3.72	3.95	3.96	3.78	3.67	3.81	3.75	3.75
	H27 5 学年	3.68	4.00	3.74	3.85	3.56	3.84	3.64	3.94	3.94	3.80	3.88	3.78	3.81
6	H25 3 学年	3.52	3.45	3.36	3.32	3.21	3.55	3.58	3.51	3.39	3.57	3.16	3.57	3.41
	H26 4 学年	3.59	3.33	3.30	3.34	3.22	3.37	3.70	3.67	3.26	3.40	3.46	3.38	3.41
	H27 5 学年	3.21	3.41	3.41	3.45	3.29	3.33	3.09	3.60	3.39	3.24	3.74	3.44	3.38
7	H25 3 学年	3.23	3.07	3.06	2.96	3.05	3.21	3.15	2.89	2.86	3.25	2.96	3.16	3.06
	H26 4 学年	3.19	3.04	2.99	3.16	3.13	3.10	3.37	3.21	2.81	3.13	3.26	2.94	3.10
	H27 5 学年	2.95	3.41	3.14	3.30	3.15	3.10	2.84	3.28	3.08	3.05	3.47	3.37	3.16
8	H25 3 学年	3.37	3.31	2.87	2.96	3.19	3.41	3.25	3.09	3.16	3.47	3.07	3.34	3.13
	H26 4 学年	3.46	3.13	2.88	3.09	3.18	3.20	3.49	3.16	3.02	3.27	3.34	3.12	3.16
	H27 5 学年	3.32	3.35	3.24	3.33	3.27	3.22	2.91	3.28	3.22	3.13	3.51	3.34	3.23
9	H25 3 学年	3.18	3.06	2.88	2.70	2.96	3.19	3.19	2.88	2.74	3.19	2.89	3.11	2.94
	H26 4 学年	3.15	2.95	2.88	3.01	3.06	3.04	3.36	3.14	2.76	3.09	3.25	2.91	3.03
	H27 5 学年	2.79	3.12	2.87	3.18	3.04	3.09	2.72	3.04	2.94	3.01	3.35	3.16	3.04
10	H25 3 学年	3.41	3.35	3.34	3.22	3.20	3.43	3.40	3.33	3.28	3.52	3.18	3.42	3.32
	H26 4 学年	3.35	3.25	3.31	3.34	3.17	3.23	3.65	3.50	3.09	3.35	3.45	3.22	3.33
	H27 5 学年	3.11	3.41	3.44	3.43	3.43	3.24	3.14	3.65	3.33	3.18	3.70	3.40	3.36
11	H25 3 学年	3.24	3.08	3.01	2.86	3.04	3.30	3.35	3.17	2.99	3.28	3.04	3.26	3.08
	H26 4 学年	3.25	3.09	3.06	3.13	3.15	3.22	3.46	3.19	2.99	3.23	3.23	3.02	3.15
	H27 5 学年	3.00	3.18	3.10	3.26	2.96	3.14	2.89	3.20	3.12	3.06	3.47	3.29	3.15



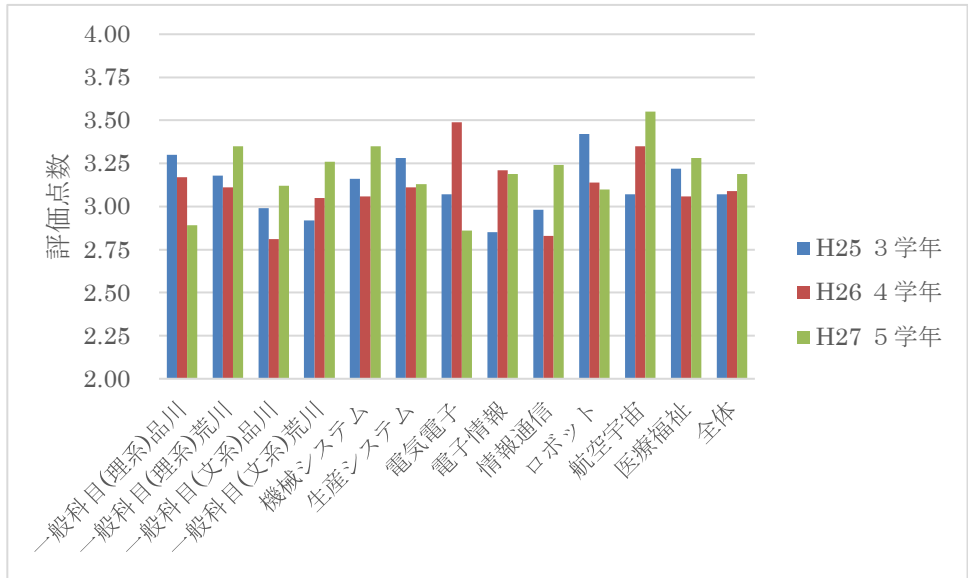
(a) 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 1 に対する結果



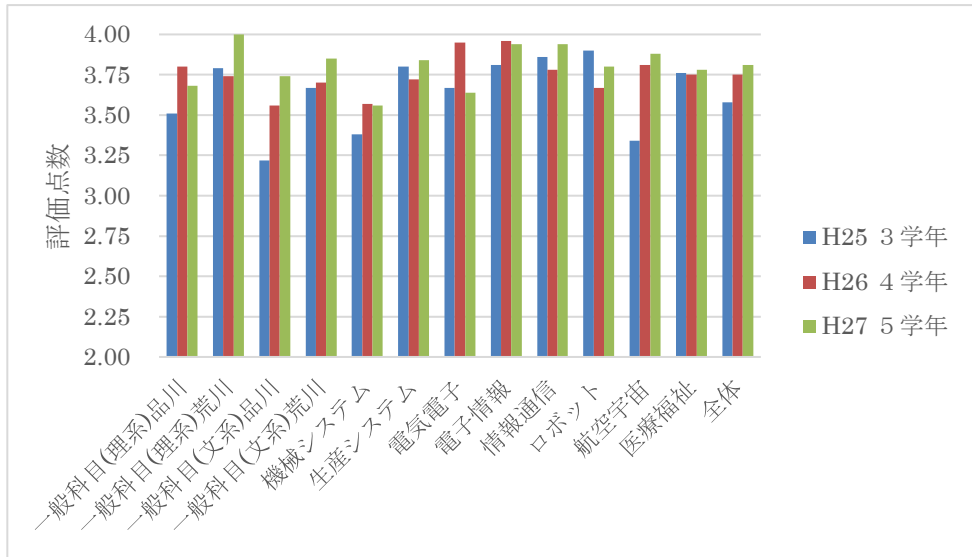
(b) 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 2 に対する結果



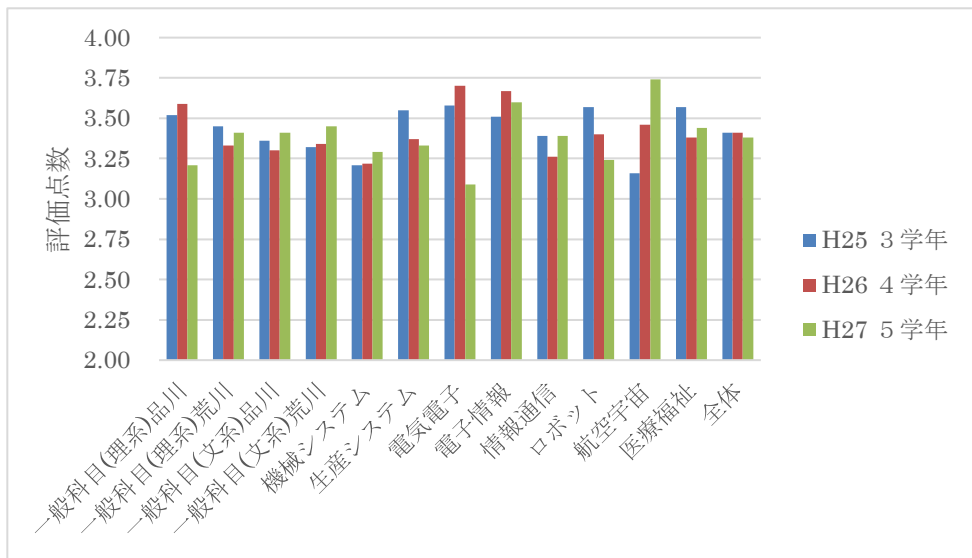
(c) 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 3 に対する結果



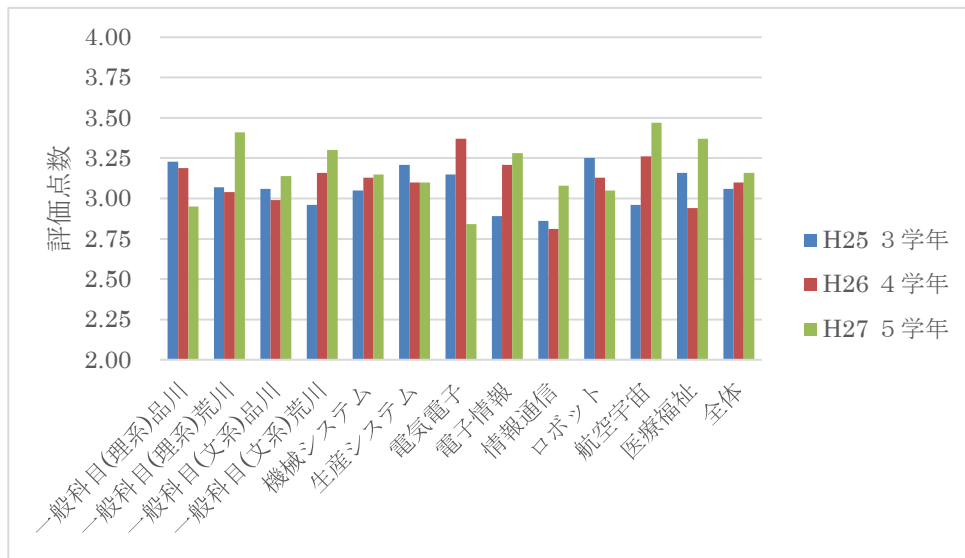
(d) 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 4 に対する結果



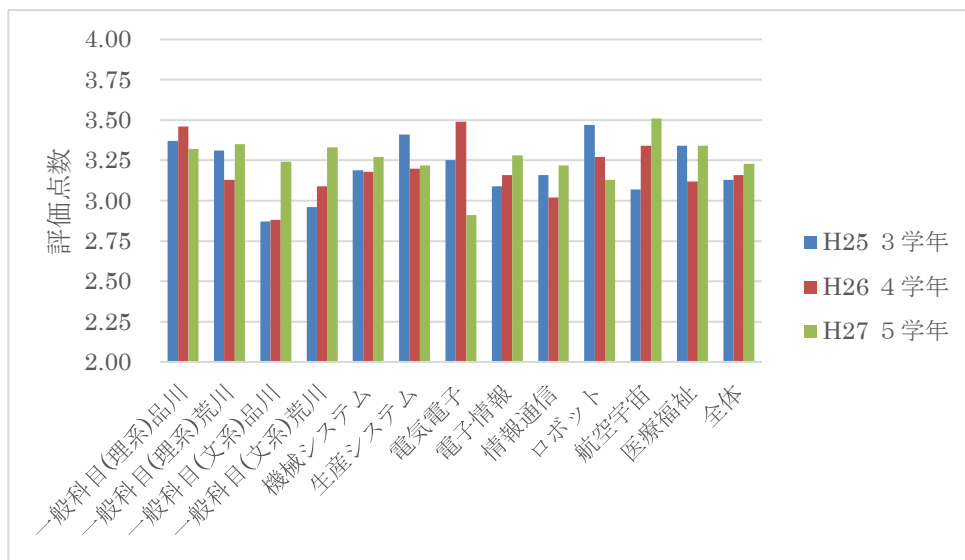
(e) 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 5 に対する結果



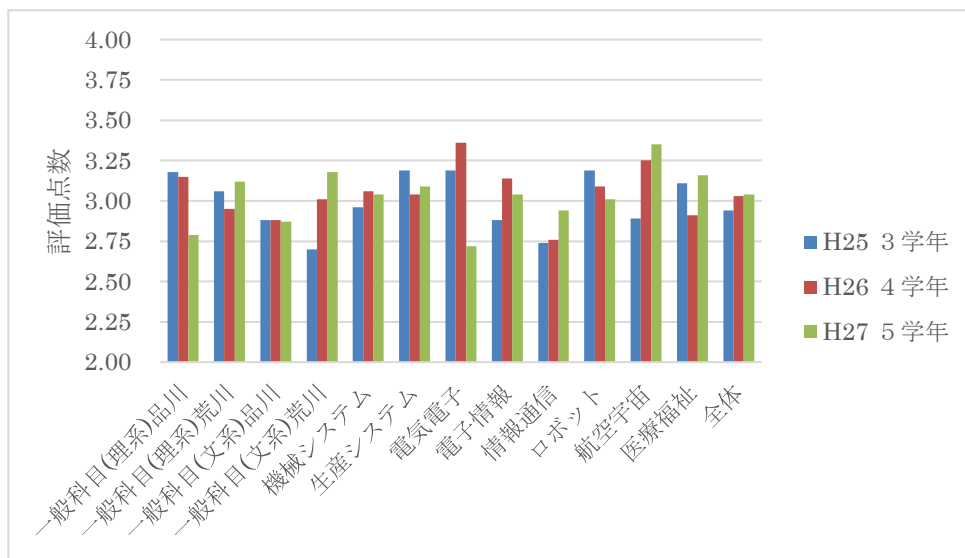
(f) 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 6 に対する結果



(g) 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 7 に対する結果

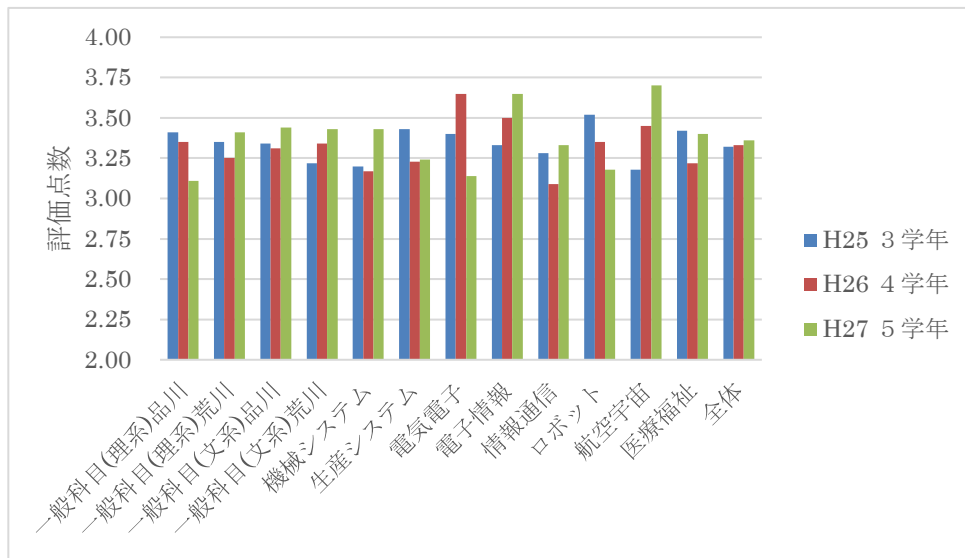


(h) 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 8 に対する結果

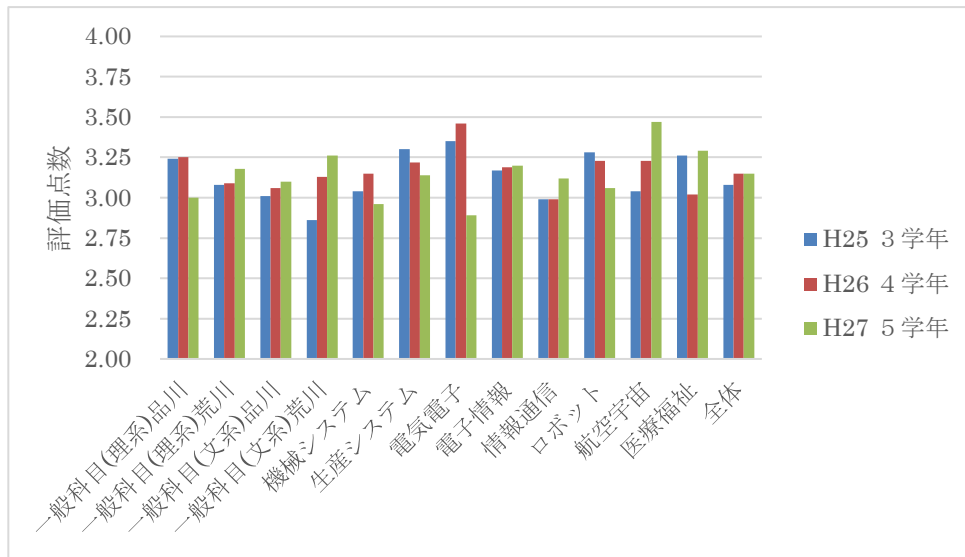


(i) 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 9 に対する結果





(j) 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 10 に対する結果



(k) 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した後期座学系 質問 11 に対する結果

図 4-4 平成 25 年度 3 学年から 27 年度 5 学年までの一学年に着目した本科後期座学系アンケート結果

表 4-4 に基づいた図 4-4(a)から図 4-4(k)までの結果は、全体としては学年が上がるにつれて評価点数も上がってはいるものの、一般科目から各工学コース専門科目までの結果はまちまちであった。科目によっては、上がるどころか大きく下がってしまう結果も見受けられる。表 4-3 での結果のように、ほとんどの科目で評価点数の上昇の結果が得られた学年とは異なり、学年によって授業への評価が異なることが示された。授業自体、各教員で毎年大きく異なるような方法で進めているわけではないとすると、そのコース・学年によって学生たちの授業アンケートへの意識や入力時の取り組みが異なっているのではないだろうか。このように一学年に着目することにより、その学年の授業への評価の違いが見えてくることわかった。今後も継続的にアンケート結果を色々な視点で分析することで、各コース・各学年の学生たちの授業アンケートに対する意識や取り組みが窺え、授業改善だけでなく、各コース・各教員・各担任として、学生たちの授業に対する取り組みへの対策・対応に活かすのに役立つのではないかと考えられる。

## 5. 最後に一新しいアンケートにむけて

平成 21 年度から教育改善室が担当してきた授業アンケートだが、毎年繰り返していけばいだけ、業務一般がそうであるように、目的と手段が倒錯しかねない危険性が孕み込まれる。アンケートは授業改善の手段であるのだが、アンケートを円滑に行なうことが目的となってしまうかねないのである。そのことに留意して、以降、アンケートのあり方自体を再検討すべきかと思われる。なかでも最も重要な検討事項の一つはアンケートの質問内容の見直しであろう。現在の質問は平成 22 年度から用いられているが、アンケート実施方法が端末からの入力に変わったことや、新カリキュラム、100 点方による評価方法の導入等、現在のアンケートがそれらに十分に対応しているかどうか確認する作業は不可欠である。一方で、同じ質問内容について、一学年に着目することによって、学年により授業への評価の違いが窺えることもわかった。授業アンケートを実施することによって授業がより良く改善されれば、学生自らがその享受者たることを自覚し、真面目な態度で授業を受け、その授業で気が付いたことや希望などをアンケートの回答に反映させられるよう、説明や方法も合わせて検討されなければならないし、真面目に回答された結果にこそ意味のある改善に繋がるものと考ええる。授業アンケートは、それを行うことのみが有意義なものではなく、アンケート結果を活かして有意義なものにするためにある。各教員の教育能力を高めることを目的にした取り組みの一環であることを認識し、多様な教育改革と合わせておこなっていくことによって、本校はよりよい学習環境が構築することができるであろう。

平成 27 年度 教育改善室